

第9期
介護予防・日常生活圏域一ズ調査報告書

令和6年3月
田辺市

調査の概要

1 調査目的

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、介護保険法第 117 条第 5 項の規定に基づき、「第 9 期田辺市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（令和 6 年度～令和 8 年度）」を策定するにあたり、一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者等を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定（地域診断）に資することなどを目的に実施するものです。

2 調査概要

- (1) 実施期間：令和 5 年 4 月 4 日（火）～令和 5 年 5 月 31 日（水）
- (2) 調査方法：郵送配布、郵送回収
- (3) 調査対象：介護認定を受けていない 65 歳以上の方（要支援認定者は対象）
※令和 5 年 3 月 15 日時点
- (4) 対象者数：19,967 人
- (5) 有効回収数：13,109 人
- (6) 回収率：65.6%

3 調査内容

- 問 1 家族や生活状況について
- 問 2 からだをうごかすことについて
- 問 3 食べることについて
- 問 4 毎日の生活について
- 問 5 地域での活動について
- 問 6 たすけあいについて
- 問 7 健康について
- 問 8 悩みストレスについて
- 問 9 認知症に係る相談窓口の把握について
- 問 10 新型コロナウイルス感染症の影響について

4 報告書利用上の留意点

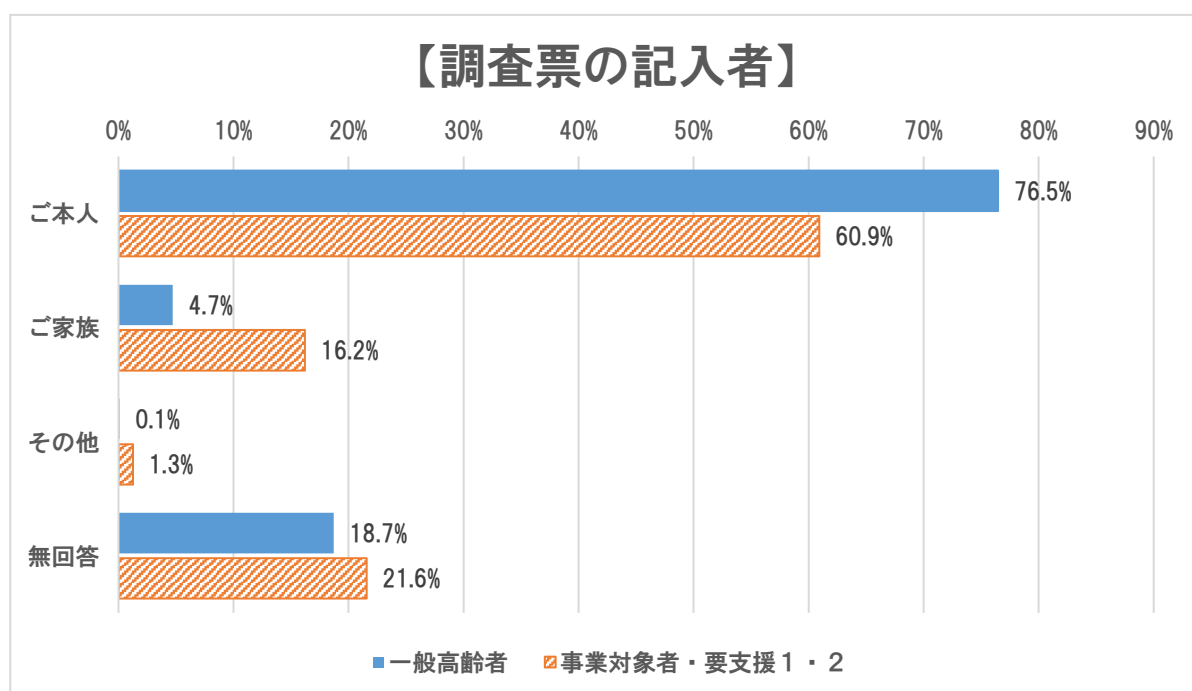
- ・基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数であります。
- ・百分率（％）の計算は、小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示した。したがって、単数回答（1 つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足しあわせて 100％にならない場合があります。
- ・介護認定で要介護 1～5 を除いた高齢者において、要支援 1・2 または事業対象者と認定されている方を「事業対象者・要支援 1・2」、介護認定を受けていない方を「一般高齢者」という表記でグループ化して集計をしています。文中では「事業対象者・要支援 1・2」の方を「要支援者」と表記します。
- ・複数回答（2 つ以上選んでよい問）においては、％の合計が 100％を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・分析軸の項目に「無回答」があるため、全体の n と合計があわない場合があります。

調査結果の詳細

ご本人について

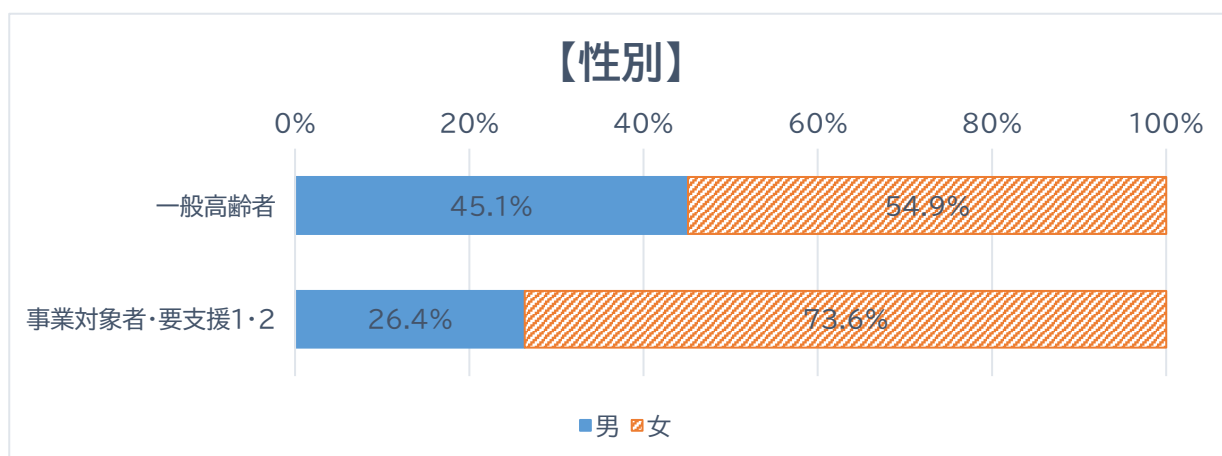
①調査票の記入者

	一般高齢者		事業対象者、要支援１・２	
	基数（n）	構成比	基数（n）	構成比
ご本人	8,699	76.5%	1,056	60.9%
ご家族	537	4.7%	281	16.2%
その他	12	0.1%	22	1.3%
無回答	2,128	18.7%	374	21.6%



②性別

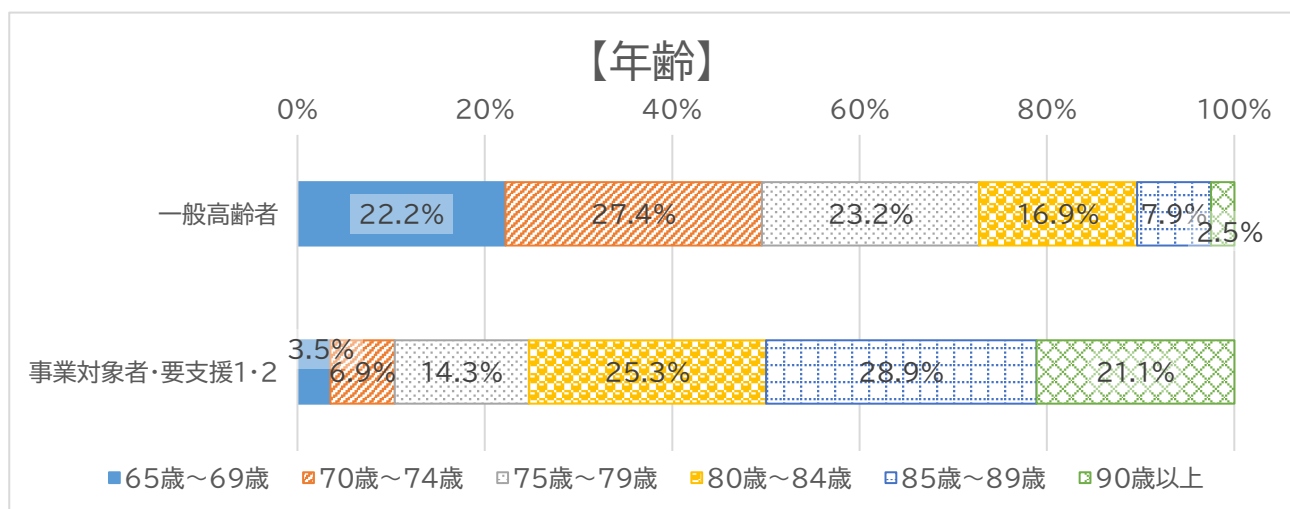
	一般高齢者		事業対象者、要支援 1・2	
	基数 (n)	構成比	基数 (n)	構成比
男	5,133	45.1%	457	26.4%
女	6,243	54.9%	1,276	73.6%



	区分	全体	旧田辺	龍神	中辺路	大塔	本宮	
一般高齢者	基数(n)	11,376	9,376	600	455	413	532	(人)
	男性	5,133	4,191	281	210	184	267	(人)
		45.1	44.7	46.8	46.2	44.6	50.2	(%)
	女性	6,243	5,185	319	245	229	265	(人)
		54.9	55.3	53.2	53.8	55.4	49.8	(%)
事業対象者・ 要支援 1・2	基数(n)	1,733	1,382	108	96	55	92	(人)
	男性	457	379	22	20	13	23	(人)
		26.4	27.4	20.4	20.8	23.6	25.0	(%)
	女性	1,276	1,003	86	76	42	69	(人)
		73.6	72.6	79.6	79.2	76.4	75.0	(%)

③年齢

	一般高齢者		事業対象者、要支援 1・2	
	基数 (n)	構成比	基数 (n)	構成比
65 歳～69 歳	2,527	22.2%	61	3.5%
70 歳～74 歳	3,114	27.4%	119	6.9%
75 歳～79 歳	2,636	23.2%	248	14.3%
80 歳～84 歳	1,917	16.9%	439	25.3%
85 歳～89 歳	899	7.9%	500	28.9%
90 歳以上	283	2.5%	366	21.1%

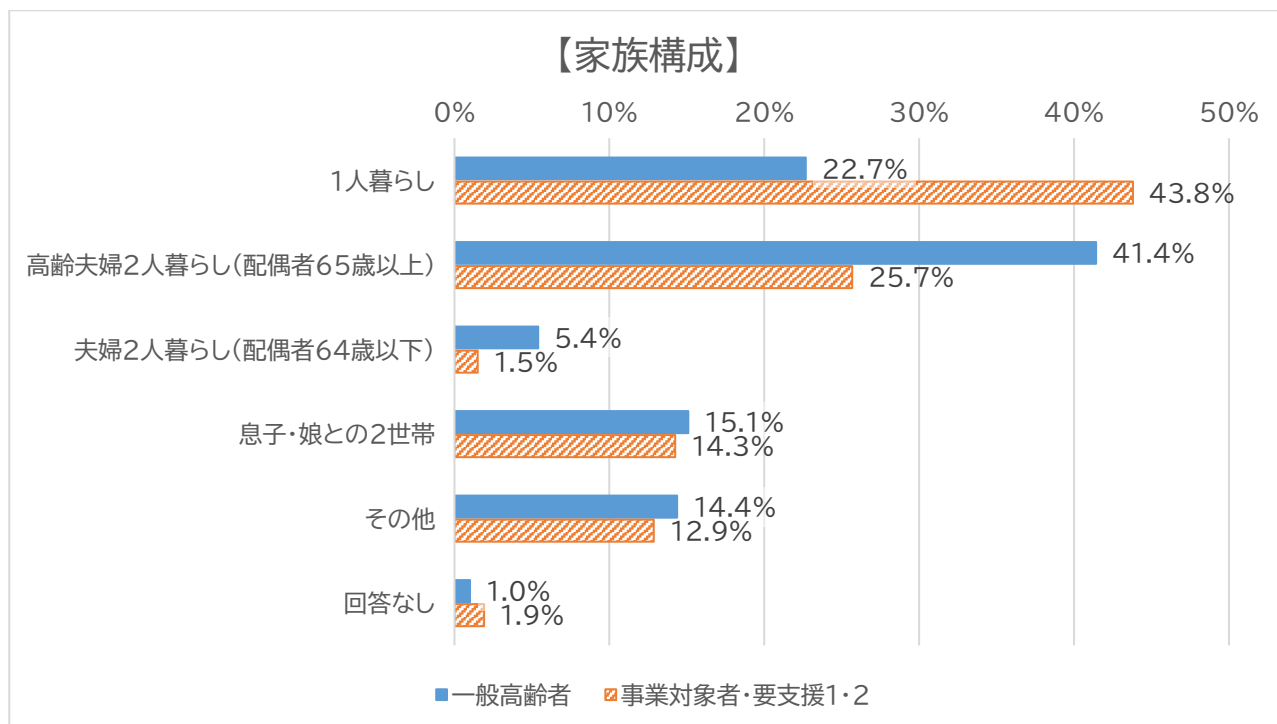


1 ご家族や生活状況について

●問1 家族構成をお教えてください。

【全体】

一人暮らしの方は要支援者では43.8%と、一般高齢者の22.7%を大きく上回っています。

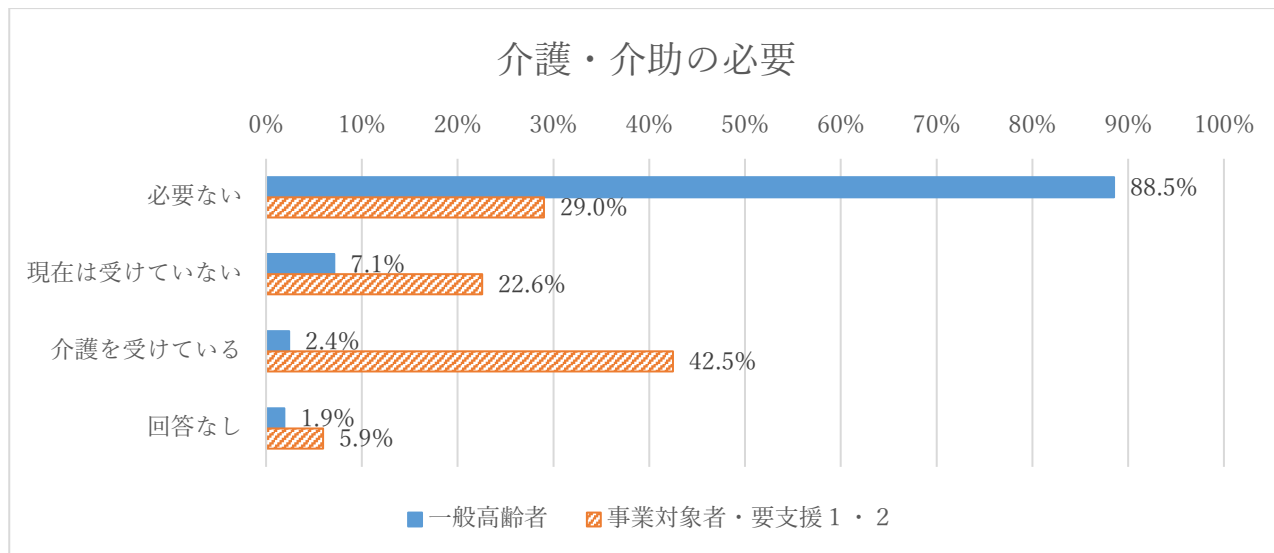


1 ご家族や生活状況について

●問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

【全体】

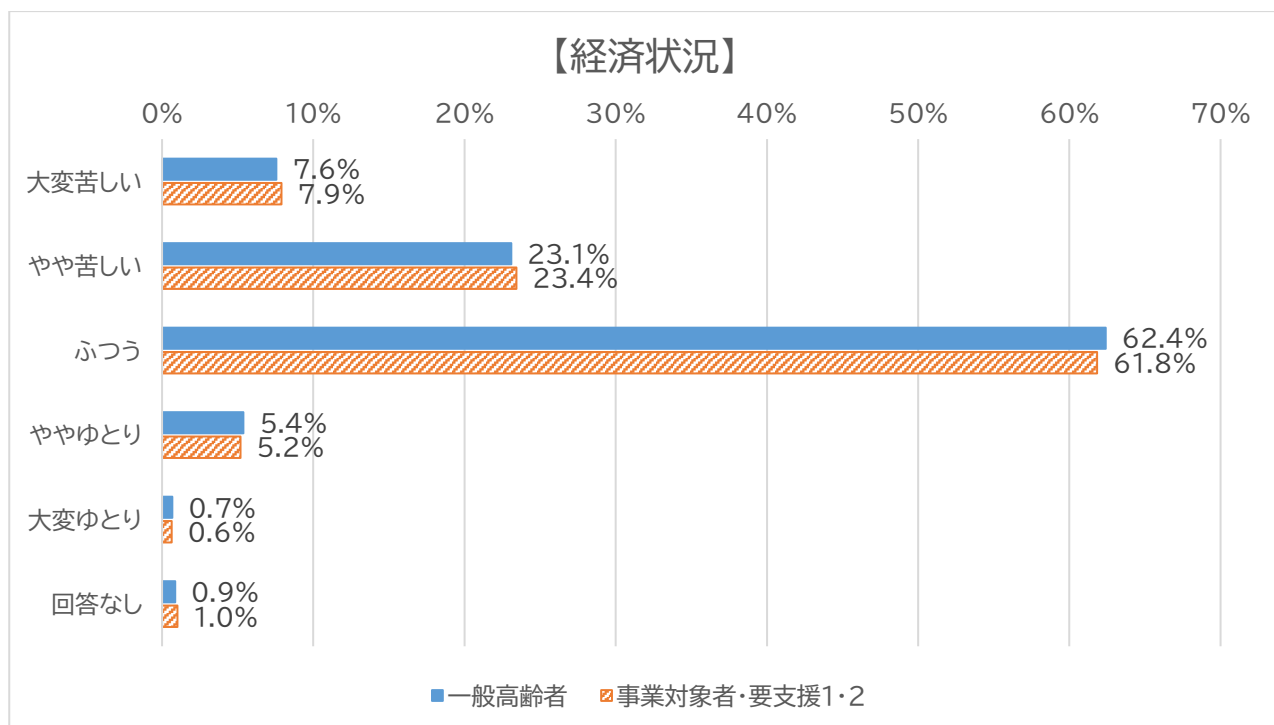
回答者の割合が多かったのは、一般高齢者では「介護・介助は必要ない」が88.5%で、要支援者では「現在、何らかの介護を受けている」が42.5%となっています。



1 ご家族や生活状況について

●問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

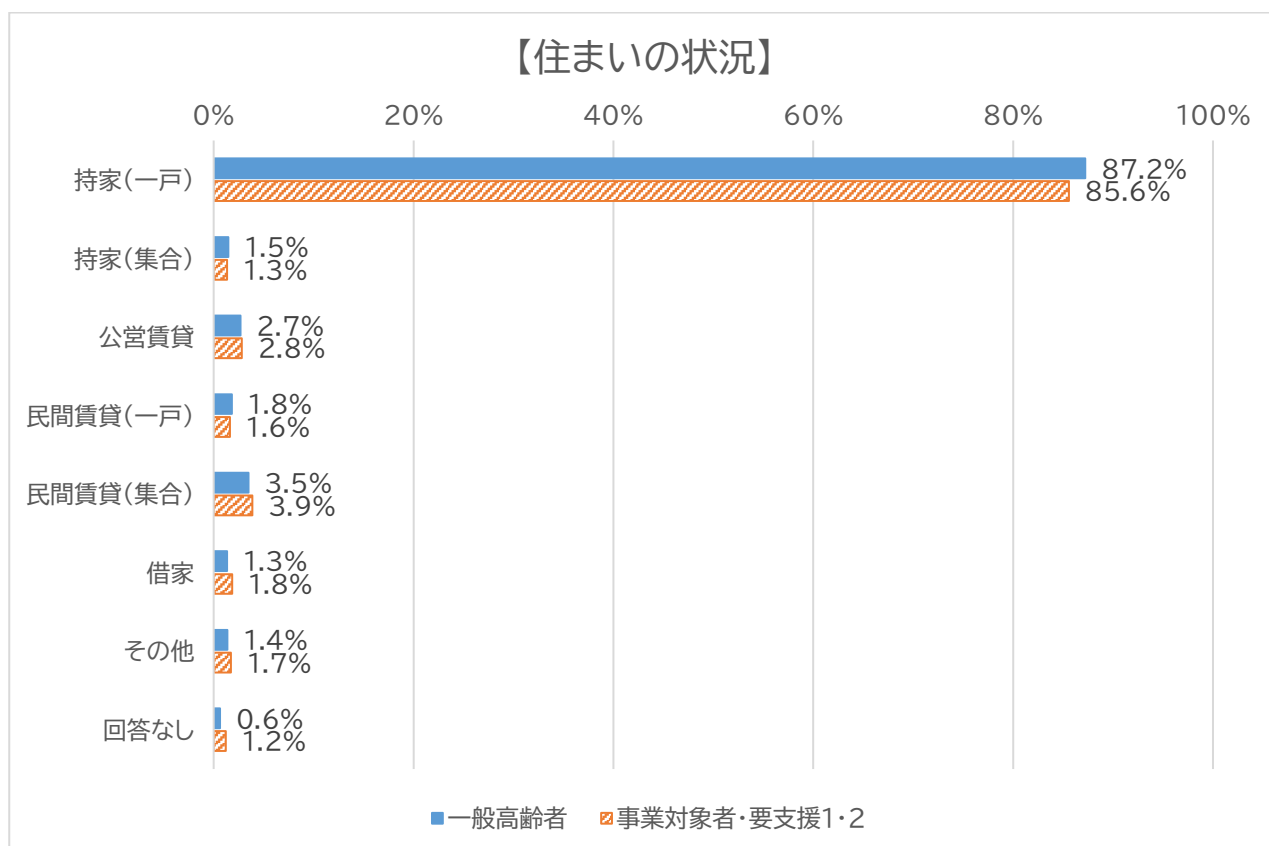
「ふつう」が約6割で最も多く、次いで「やや苦しい」が約2割となっています。



1 ご家族や生活状況について

●問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

「持家（一戸建て）」が約8割以上で最も多い結果となっています。



2 からだを動かすことについて

●問 1 運動器の機能低下リスク

●リスク判定方法

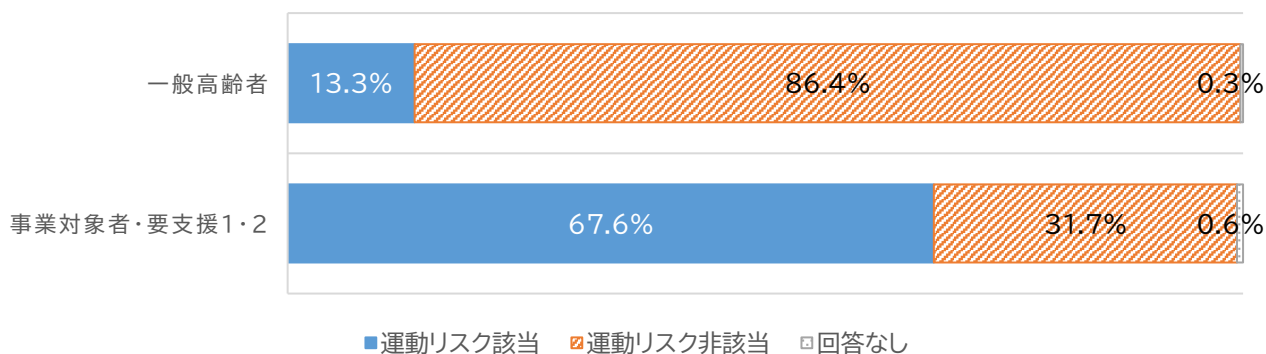
以下の設問に対して 5 問中 3 問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

運動器の質問項目の 3 問以上に回答がない場合は「無回答」としました。

設問	選択肢
問 1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
問 2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できない
問 3 15 分位続けて歩いていますか	できない
問 4 過去 1 年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1 度ある
問 5 転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である／やや不安である

運動器機能の低下に「該当」する一般高齢者は 13.3%ですが、要支援者の運動器の機能低下リスクは 67.6%となっています。

【運動器の機能低下リスク】



2 からだを動かすことについて

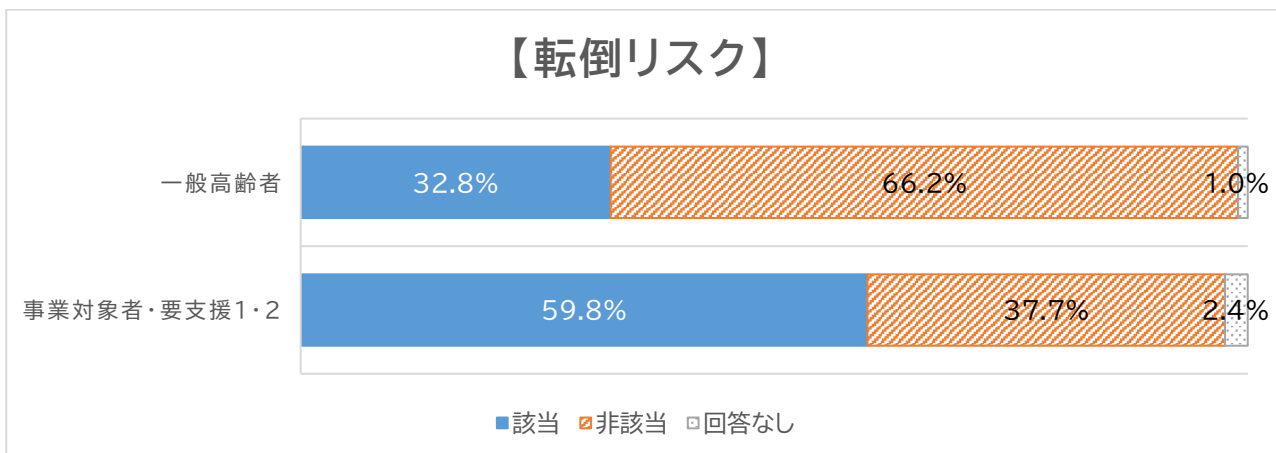
●問 2-1 運動器の機能低下リスク

●リスク判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
問 4 過去 1 年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1 度ある

一般高齢者の転倒リスクは 32.8%が「該当」しますが、要支援者の転倒リスクの「該当」は 59.8%となっています。



2 からだを動かすことについて

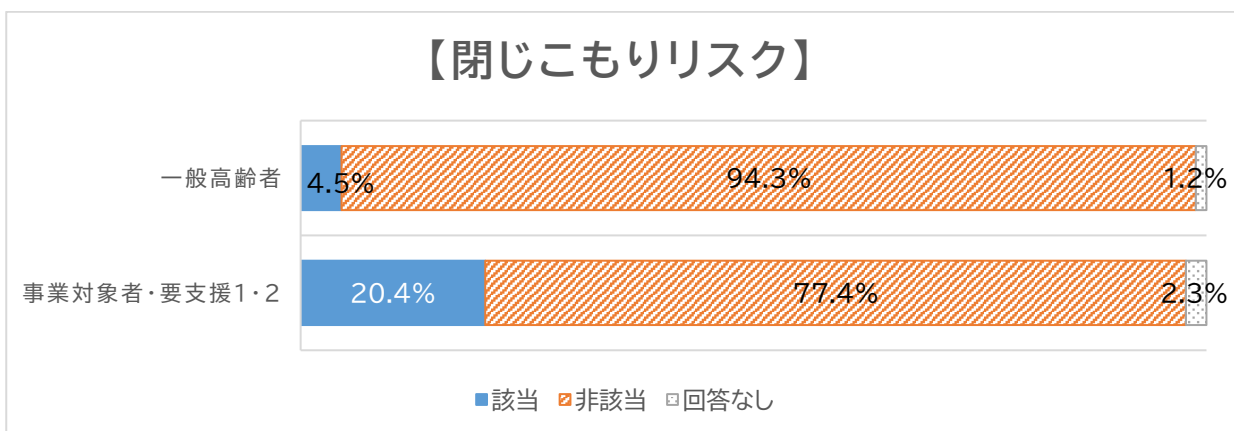
●問 2-2 閉じこもりのリスク

●リスク判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもり傾向のある高齢者となります。

設問	選択肢
問 6 週に 1 回以上は外出していますか	ほとんど外出しない／ 週 1 回

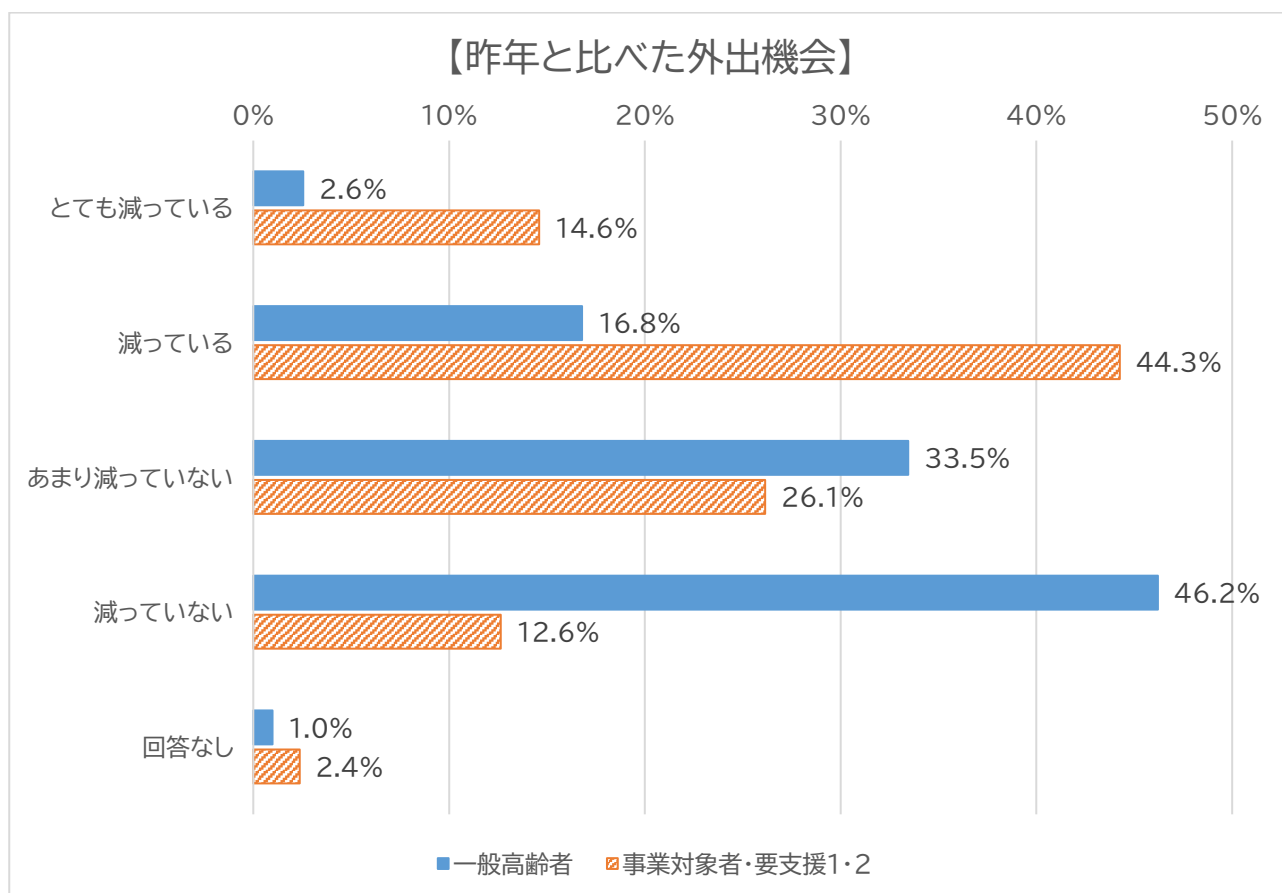
一般高齢者の閉じこもりのリスクに「該当」が 4.5%であるのに対して、要支援者の閉じこもりのリスクに「該当」が 20.4%となっています。



2 からだを動かすことについて

●問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

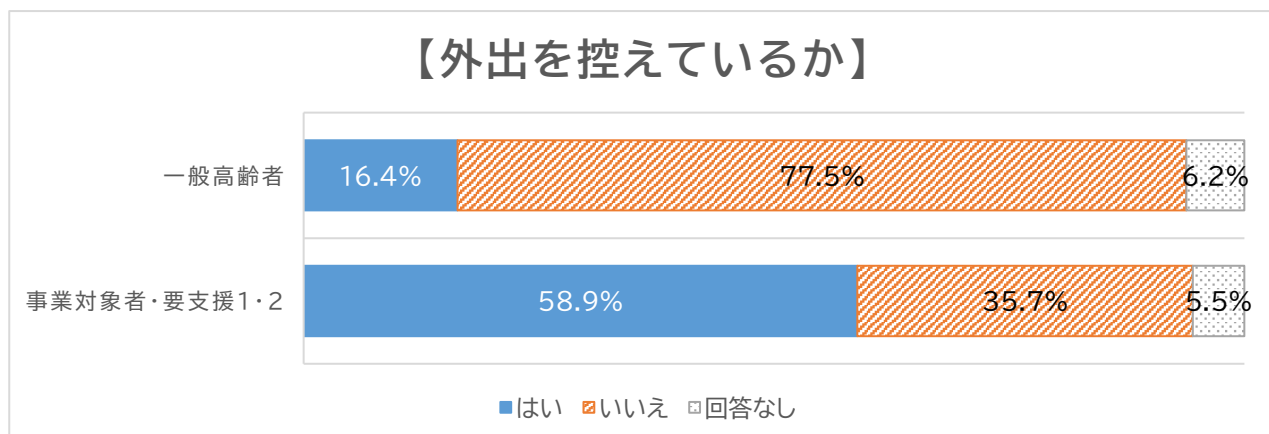
一般高齢者では「減っていない」が46.2%で最も多くなっていますが、要支援者では「減っている」が44.3%で最も多くなっています。



2 からだを動かすことについて

●問8 外出を控えていますか。

一般高齢者では「はい」が16.4%、「いいえ」が77.5%ですが、要支援者では「はい」が58.9%、「いいえ」が35.7%となっています。

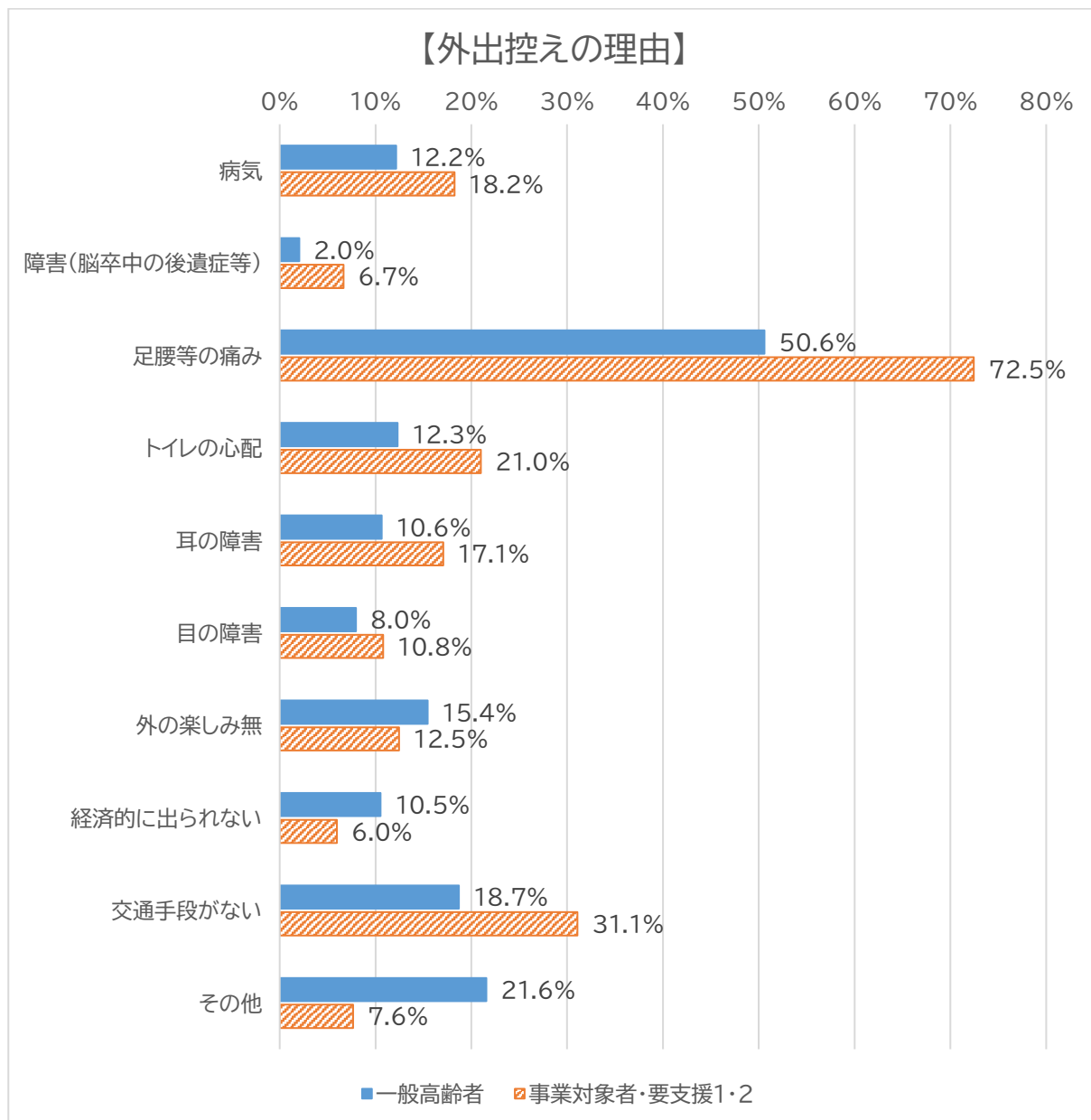


2 からだを動かすことについて

●問 8－1 外出を控えている理由は、次のどれですか（複数回答）。

「問 8 外出を控えていますか」で「はい」と答えた方。

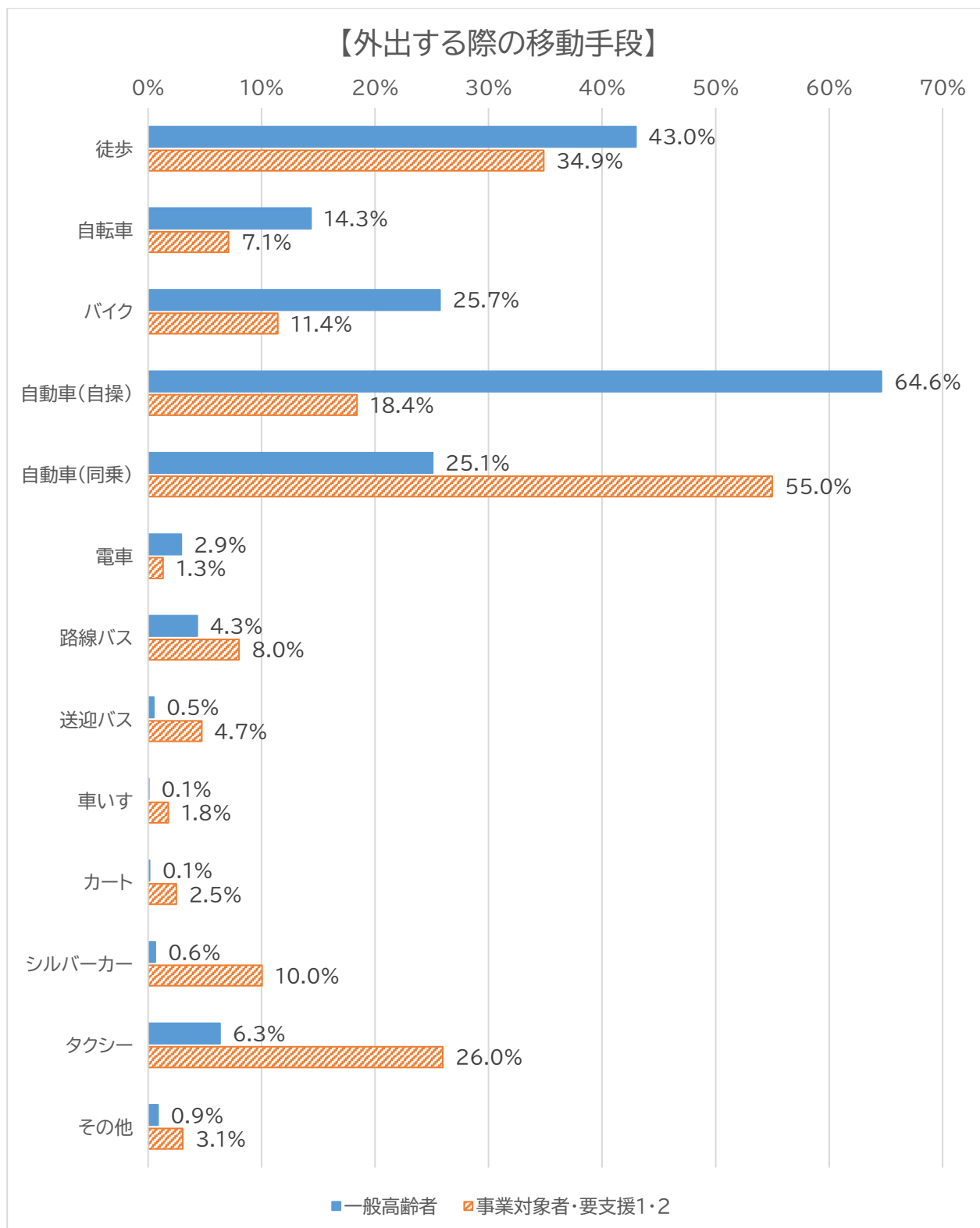
問 8 で外出を控えているに「はい」を選ばれた方のうち、外出を控えている理由で一番多かったのは「足腰の痛み」で、一般高齢者で 50.6%、要支援者で 72.5%となっています。



2 からだを動かすことについて

●問9 外出する際の移動手段は何ですか（複数回答）。

外出する際の移動手段は最も多いのは、一般高齢者は「自動車（自分で運転）」が64.6%、次いで「徒歩」が43.0%となっています。要支援者は「自動車（人に乗せてもらう）」が55.0%と最も多く、次いで「徒歩」の34.9%となっています。



3 食べることについて

●問1 栄養改善のリスク

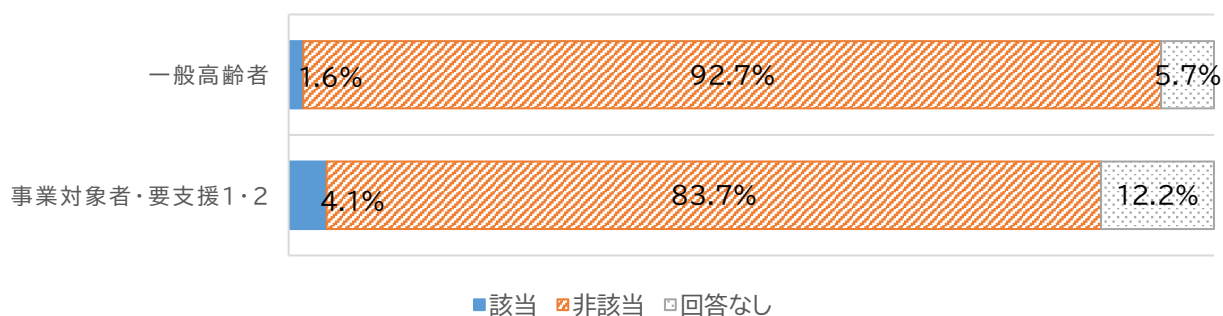
●リスク判定方法

以下の設問に対して全て該当する場合は栄養改善リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
問1 身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5未満
問7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい

栄養改善のリスクの「該当」は一般高齢者で1.6%、要支援者では4.1%となっています。

【低栄養が疑われるリスク】



3 食べることについて

●問2 口腔機能の低下リスク

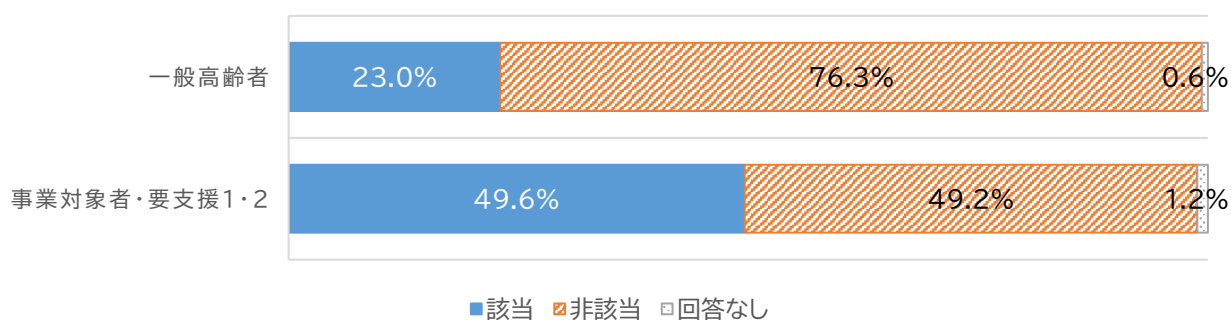
(リスク判定方法)

以下の設問に対して3問中2問以上該当する場合は、口腔機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
(2)【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
(3)【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
(4)【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

口腔機能の低下リスクでは、一般高齢者は「該当」が23.0%、要支援者では「該当」が49.6%となっています。

【口腔機能のリスク】

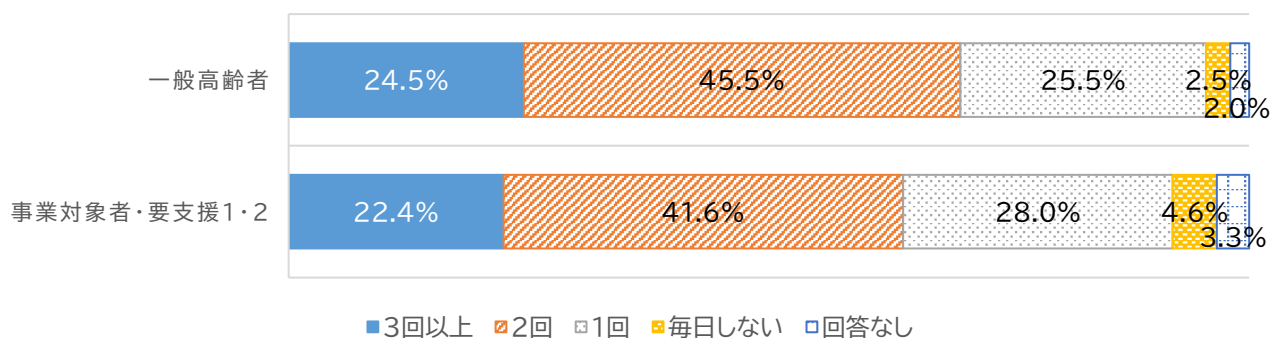


3 食べることについて

●問5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

歯磨きを毎日行っていると答えた方は一般高齢者で95.5%、要支援者で92%となっています。

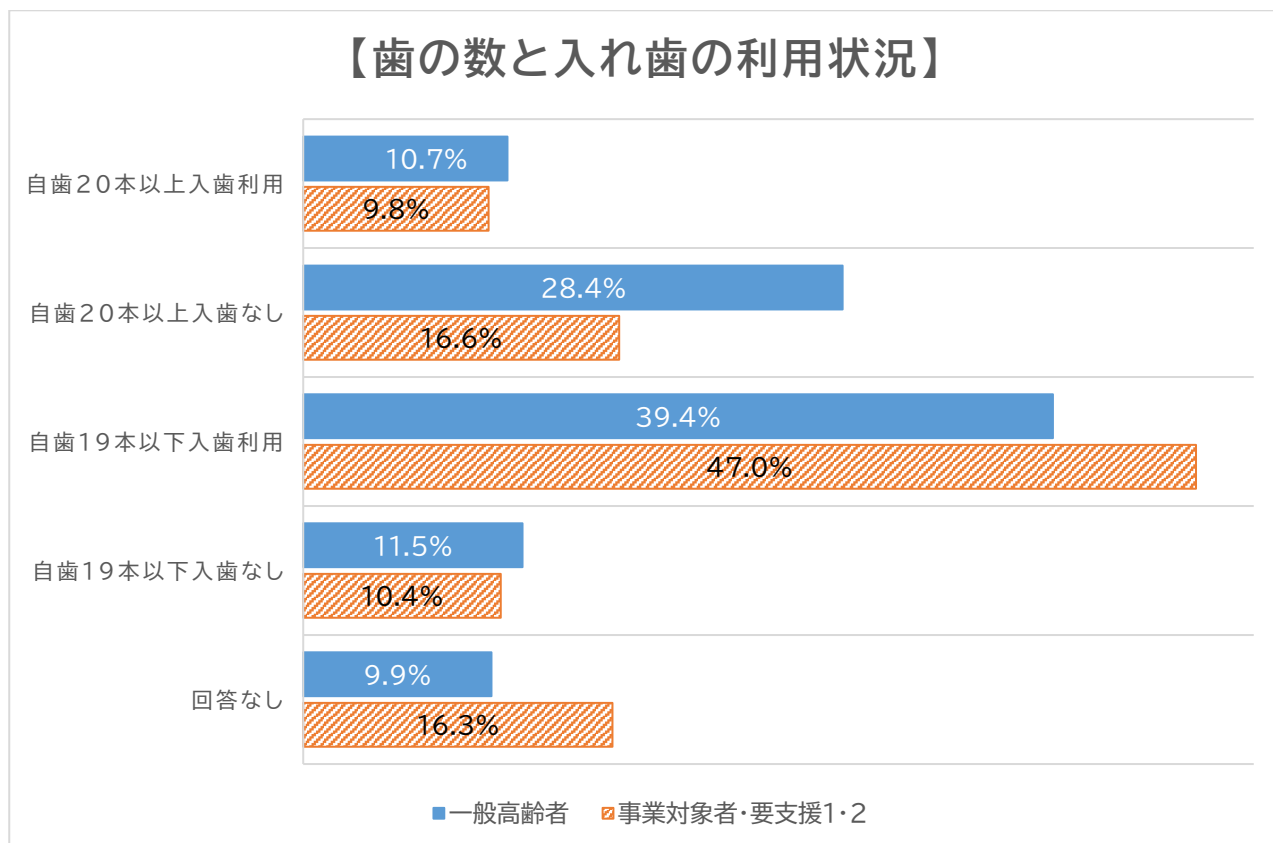
【毎日の歯磨き】



3 食べることについて

●問6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

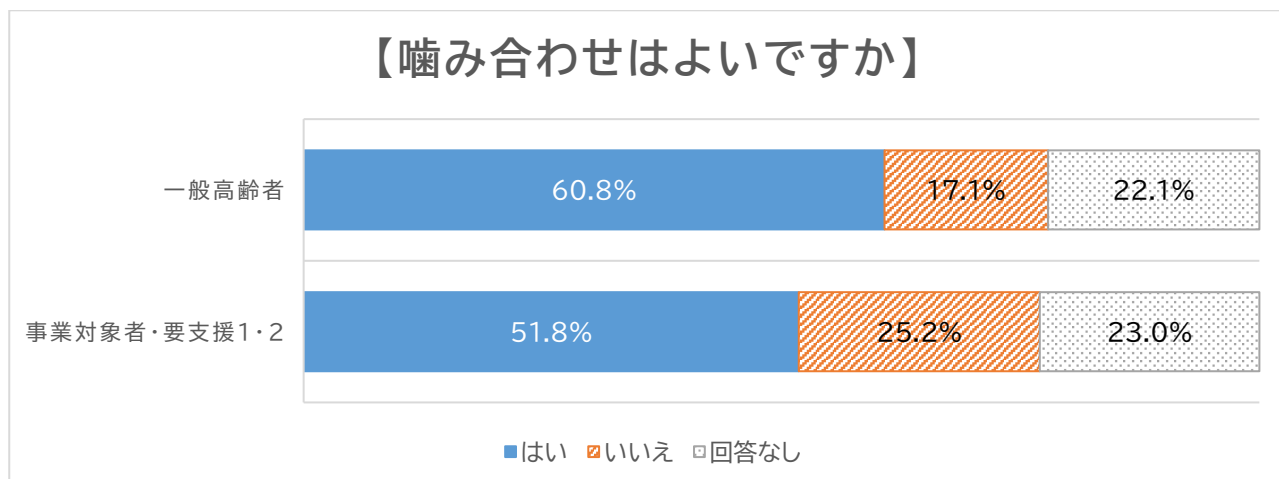
一般高齢者と要支援者ともに「自分の歯が19本以下で、入れ歯を利用している」最も多く、一般高齢者で39.4%、要支援者で47.0%となっています。



3 食べることにについて

●問 6-1 噛み合わせは良いですか

一般高齢者で「はい」が 60.8%、「いいえ」が 17.1%、要支援者で「はい」が 51.8%、「いいえ」が 25.2%となっています。

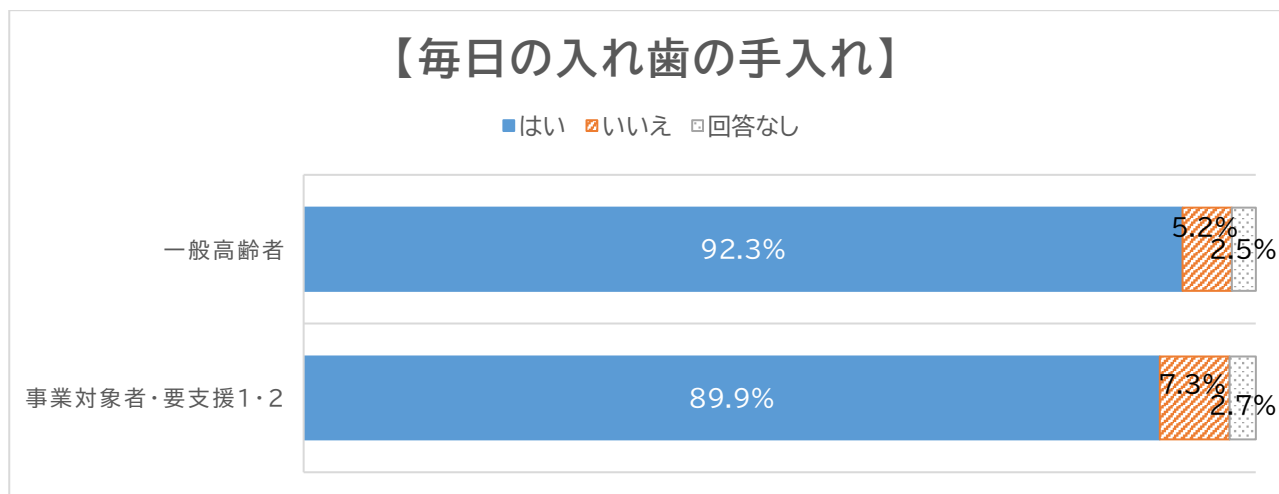


3 食べることにについて

●問 6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか

「問 6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください」で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と答えた方。

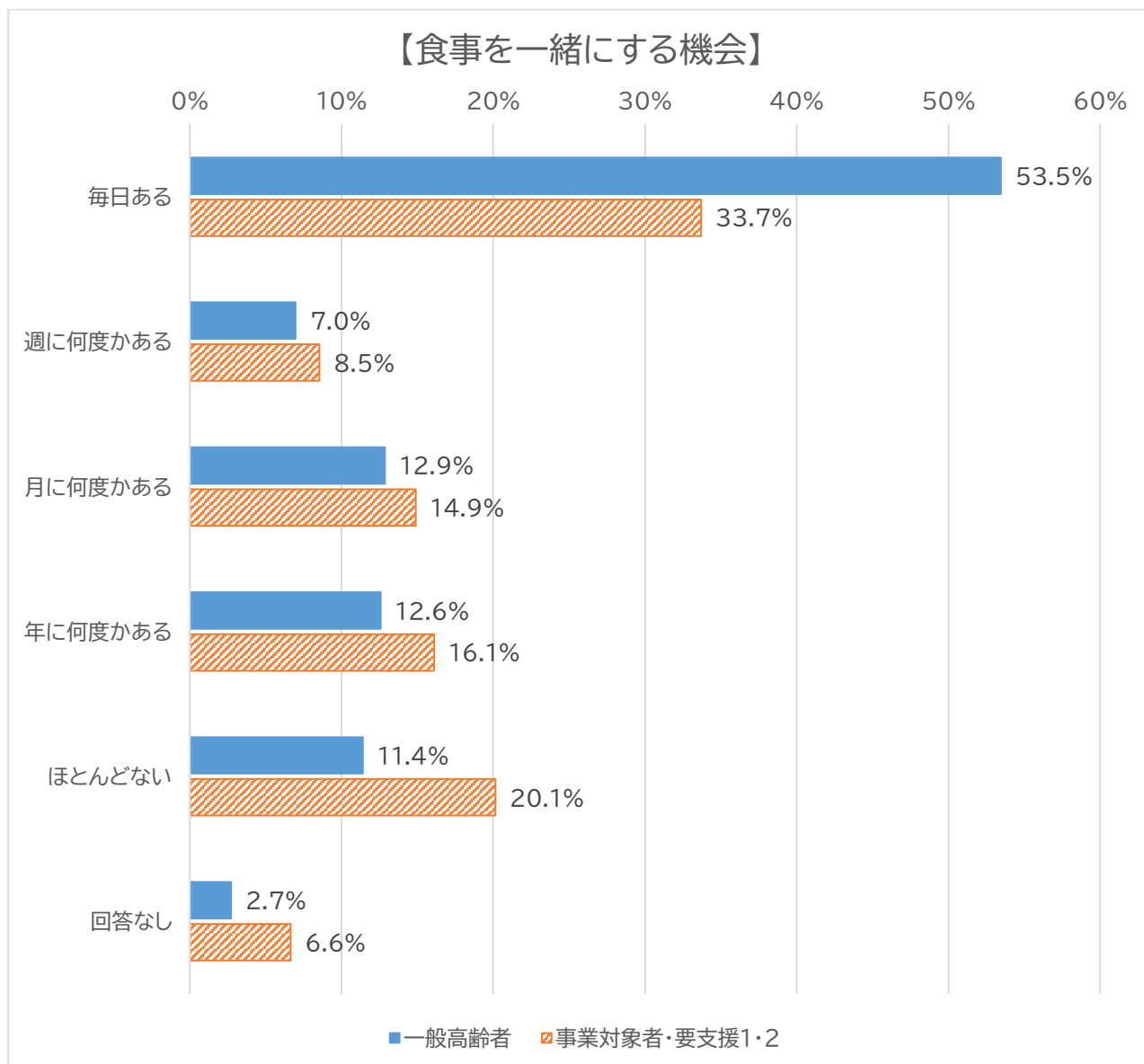
入歯を利用してる方のうち毎日入れ歯の手入れをしていると回答された方は、一般高齢者で 92.3%、要支援者で 89.9%となっています。



3 食べるについて

●問8 どなたかと食事をともにする機会がありますか。

どなたかと食事を共にする機会は「毎日ある」が最も多く、一般高齢者で 53.5%、要支援者で 33.7%となっています。



4 毎日の生活について

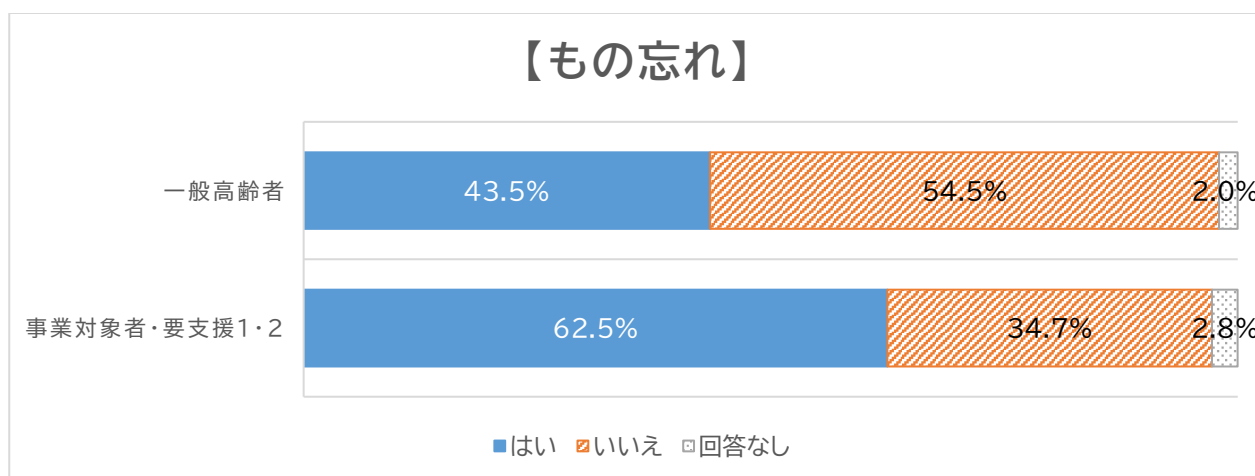
●問1 物忘れ

(リスク判定方法)

以下の設問に対して該当する場合は認知機能リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

一般高齢者では「該当」が43.5%、要支援者で「該当」は62.5%となっています。



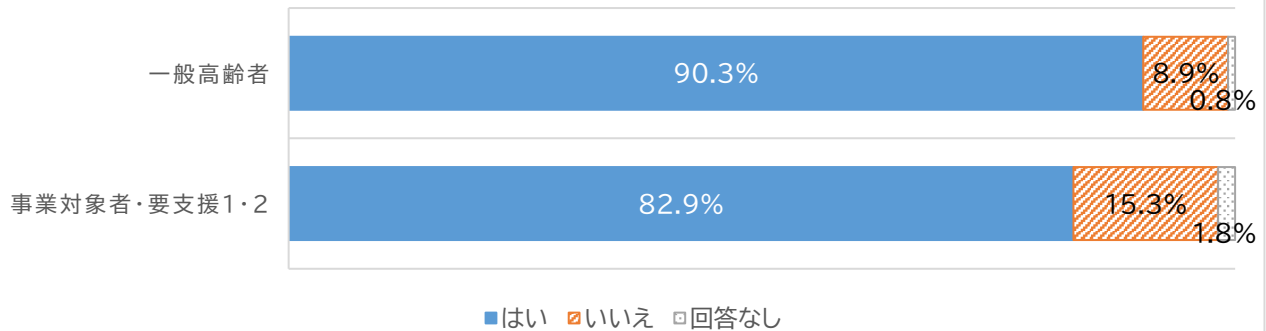
4 毎日の生活について

●問2 物忘れの状況

●問2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

一般高齢者で「はい」が90.3%、要支援者で「はい」が82.9%となっています。

自分で番号調べ電話する



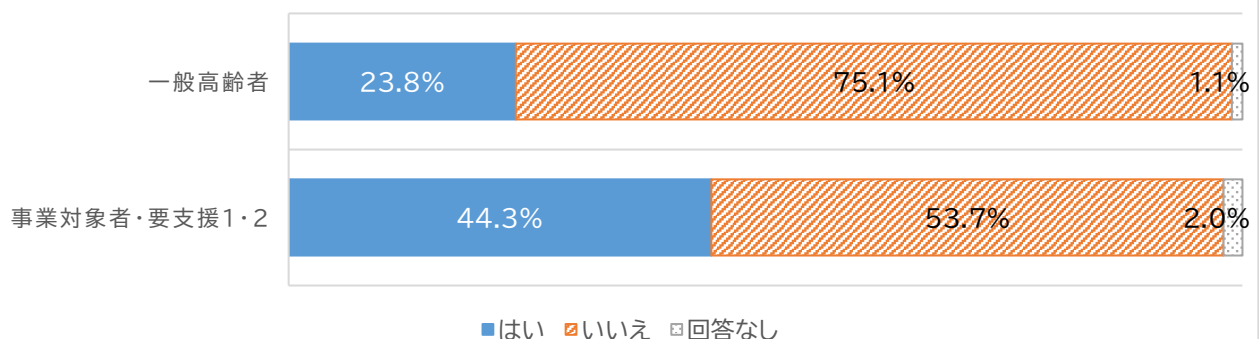
4 毎日の生活について

●問4-2 物忘れの状況

●問3 今日が何月何日かわからない時がありますか。

一般高齢者で「はい」は23.8%ですが、要支援者では44.3%となっています。

【今日の日付を忘れる】



4 毎日の生活について

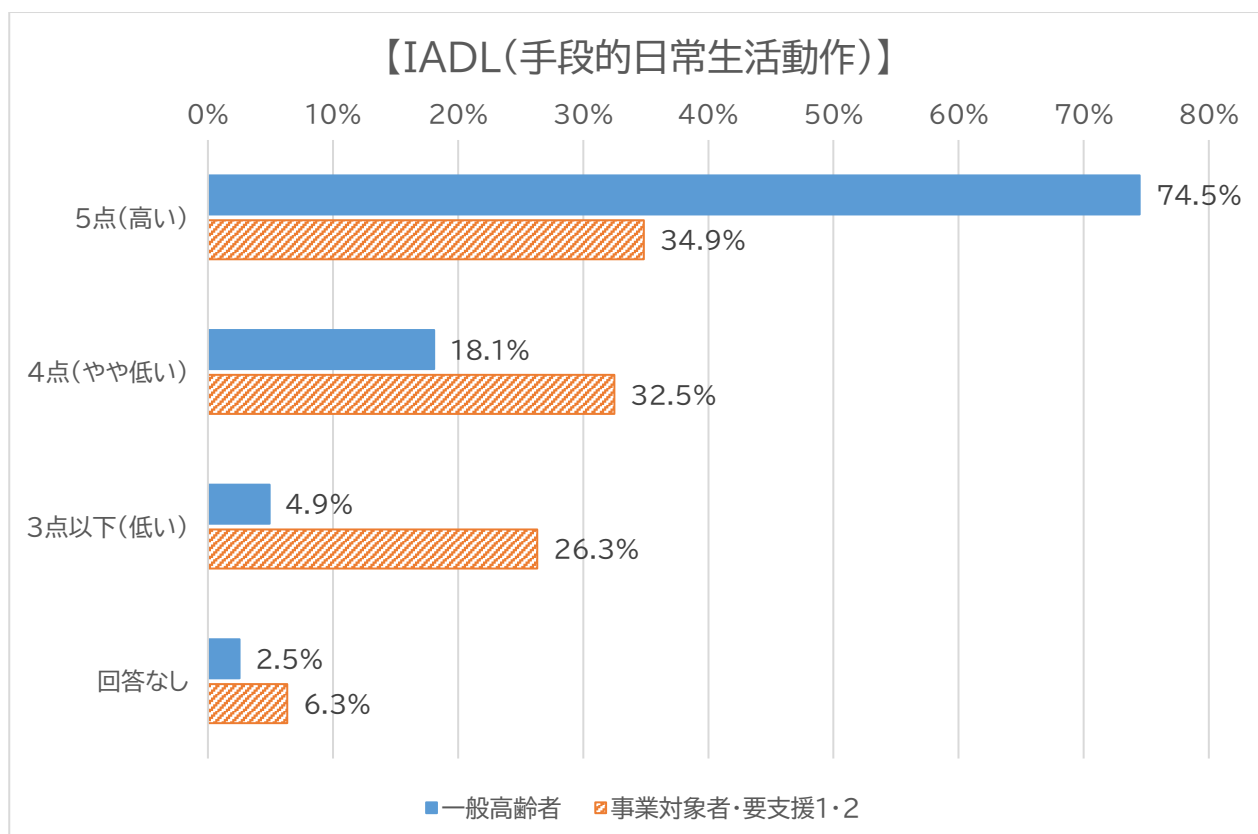
●問3 IADL（「手段的日常生活動作」生活動作を行うよりも複雑で高いレベルの行動）の判定方法

（リスク判定方法）

以下の設問を5点満点で判定し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価。

設問	選択肢	配点
問4 バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している／ できるけどしていない	1点
問5 自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
問6 自分で食事の用意をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
問7 自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
問8 自分で預貯金のおし入れをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点

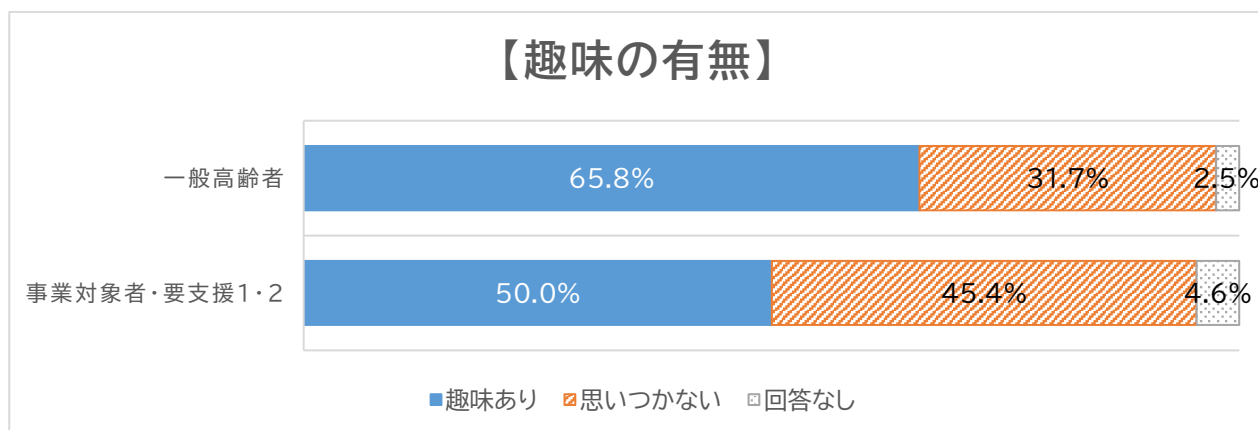
手段的日常生活動作の点数の内「5点（高い）」が最も多くなっていますが、一般高齢者の74.5%に対して、要支援者は34.9%となっています。



4 毎日の生活について

●問 9 趣味はありますか。

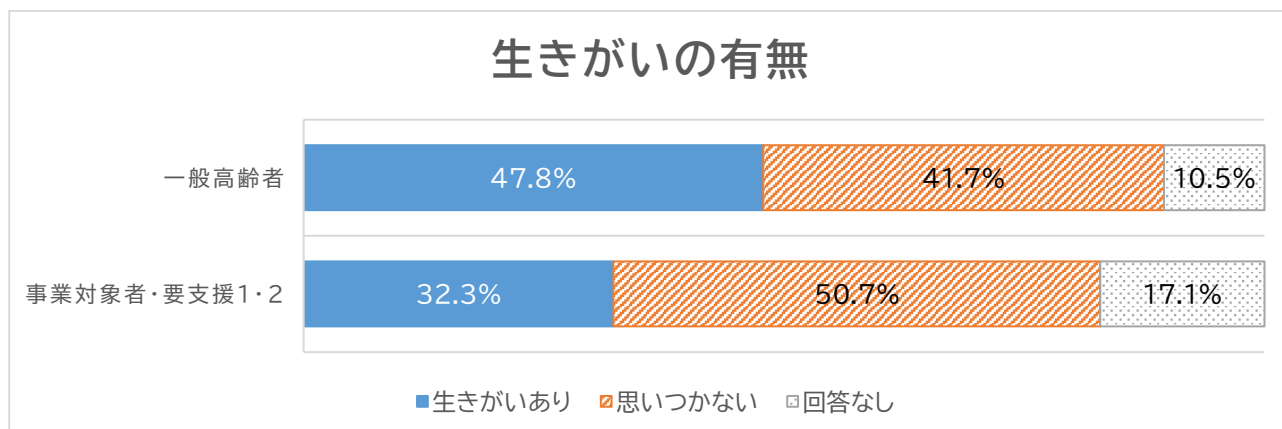
「趣味あり」は一般高齢者で 65.8%、要支援者で 50.0%となっています。



4 毎日の生活について

●問 10 生きがいがありますか。

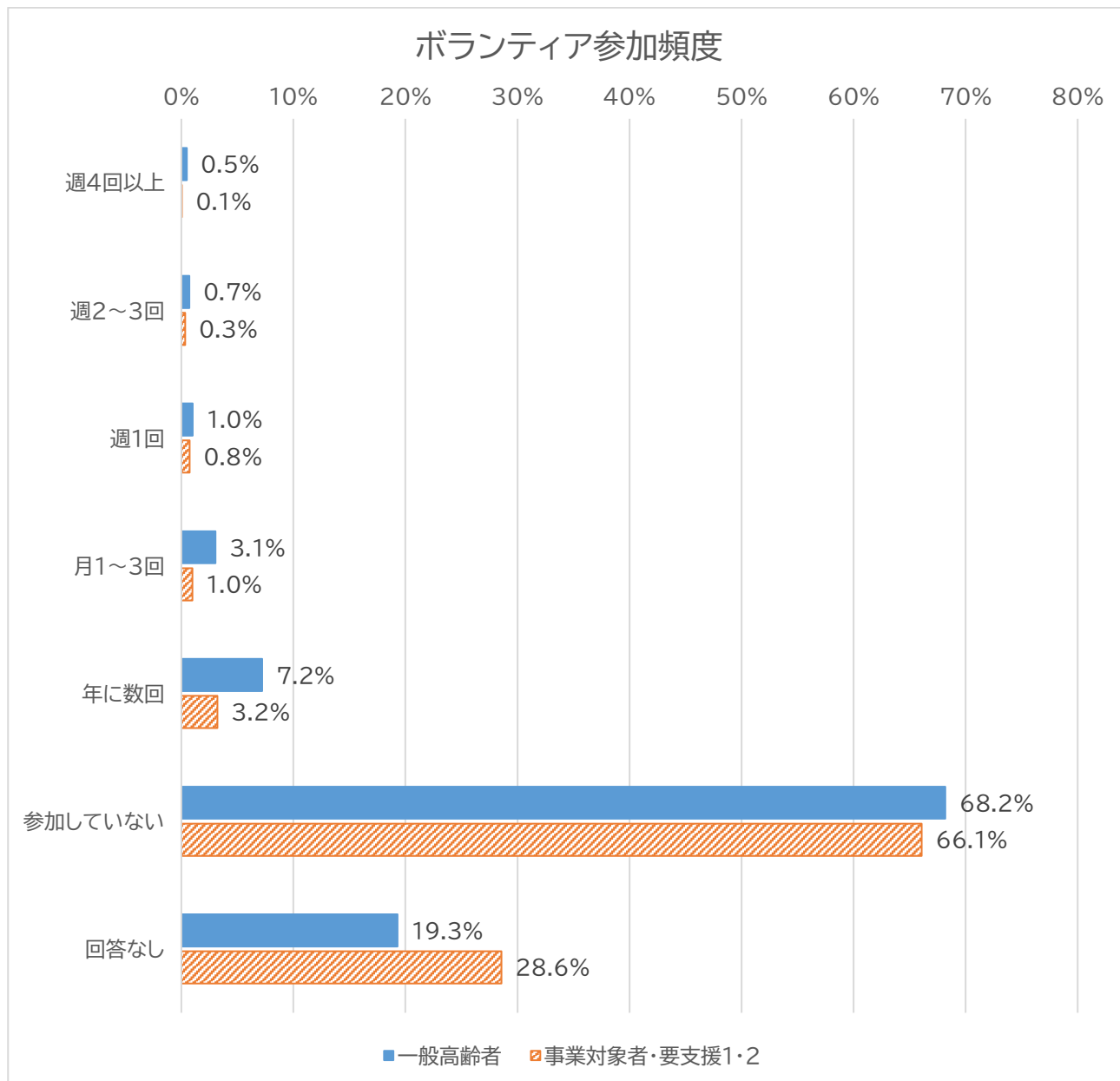
「生きがいあり」が一般高齢者で 47.8%、要支援者で 32.3%となっています。



5 地域での活動について

●問1 ①ボランティアのグループへの参加頻度

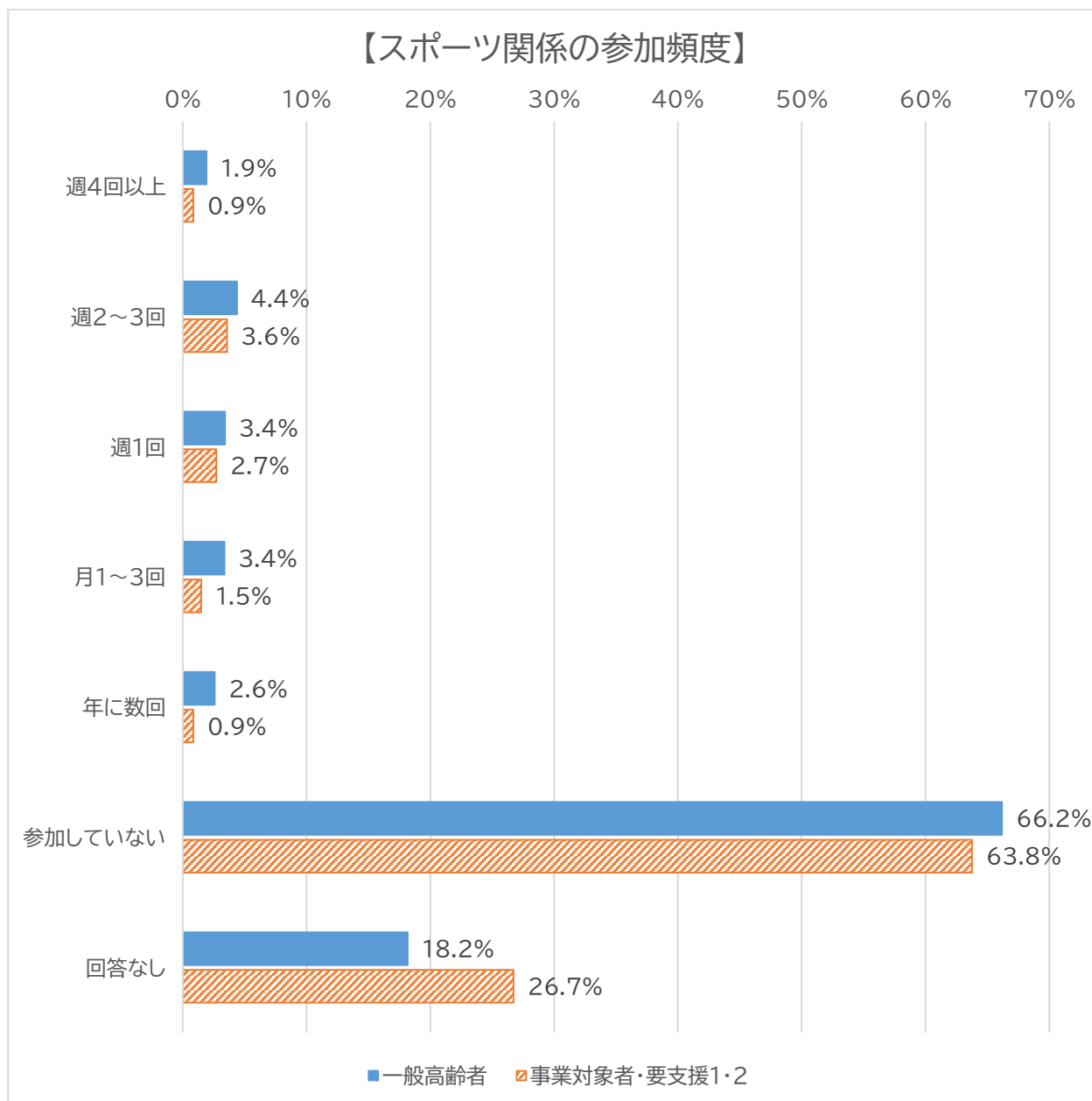
「参加していない」が一般高齢者で68.2%、要支援者はで66.1%が一番多くなっています。次いで「年に数回」が一般高齢者で7.2%、要支援者で3.2%となっています。



5 地域での活動について

●問 1 ②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度

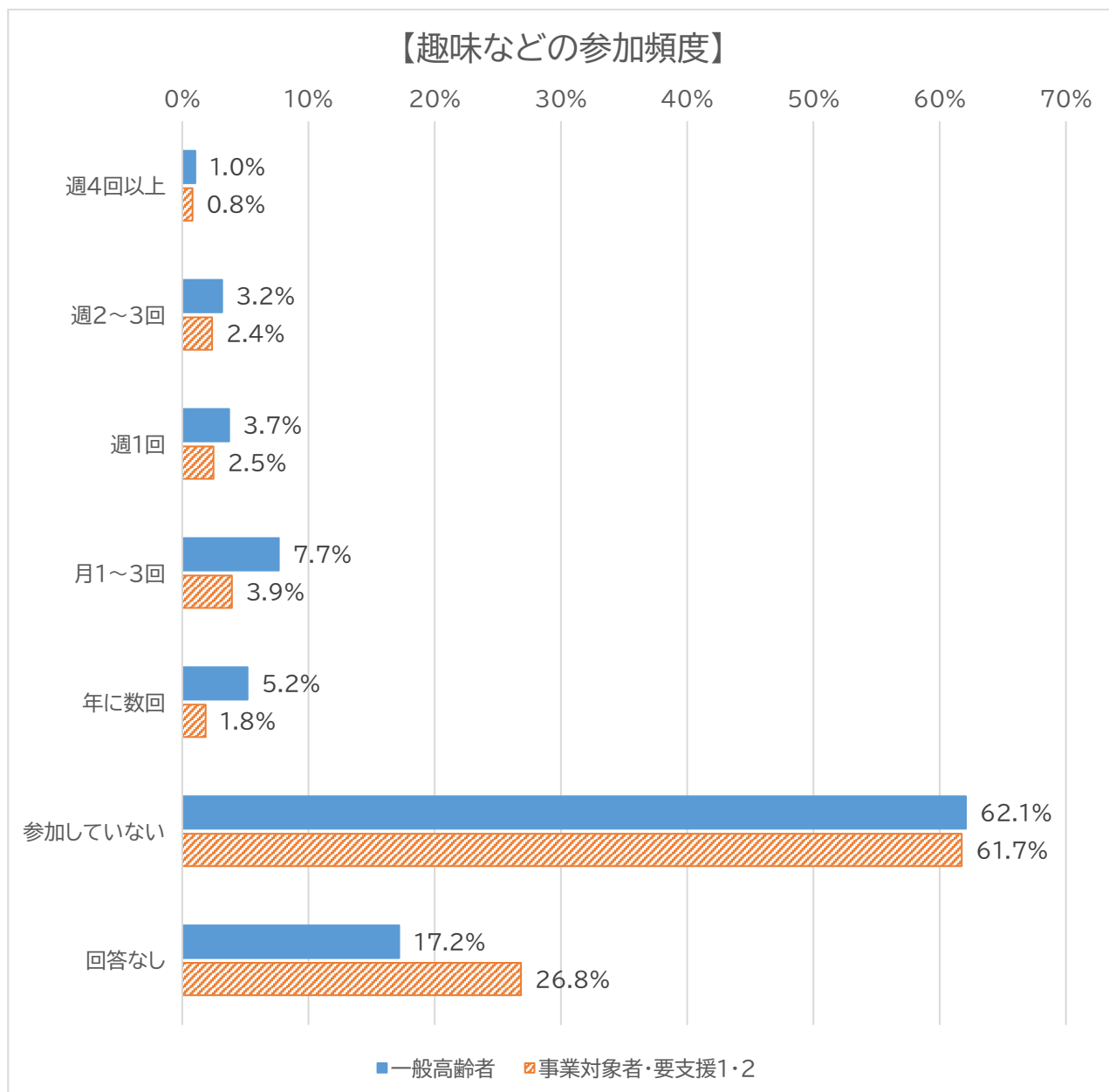
「参加していない」が6割以上を占め、次いで「週2～3回」が一般高齢者で4.4%、要支援者で3.6%、「週1回」が一般高齢者で3.4%、要支援者で2.7%となっています。



5 地域での活動について

●問 1 ③趣味関係のグループへの参加頻度

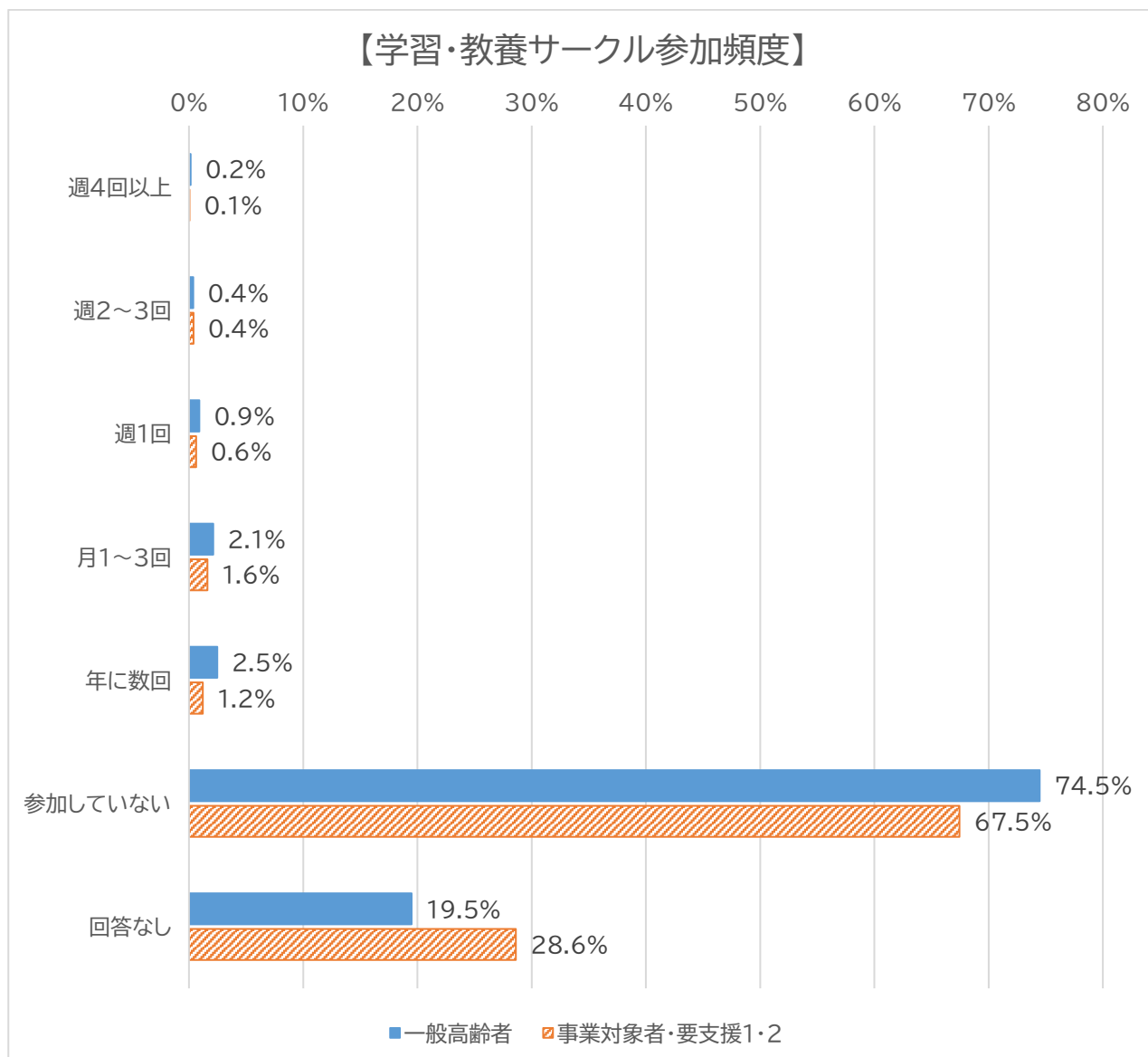
「参加していない」が約6割以上を占め、次いで「月1～3回」が一般高齢者で7.7%、要支援者で3.9%となっています。



5 地域での活動について

●問 1 ④学習・教養サークルへの参加頻度

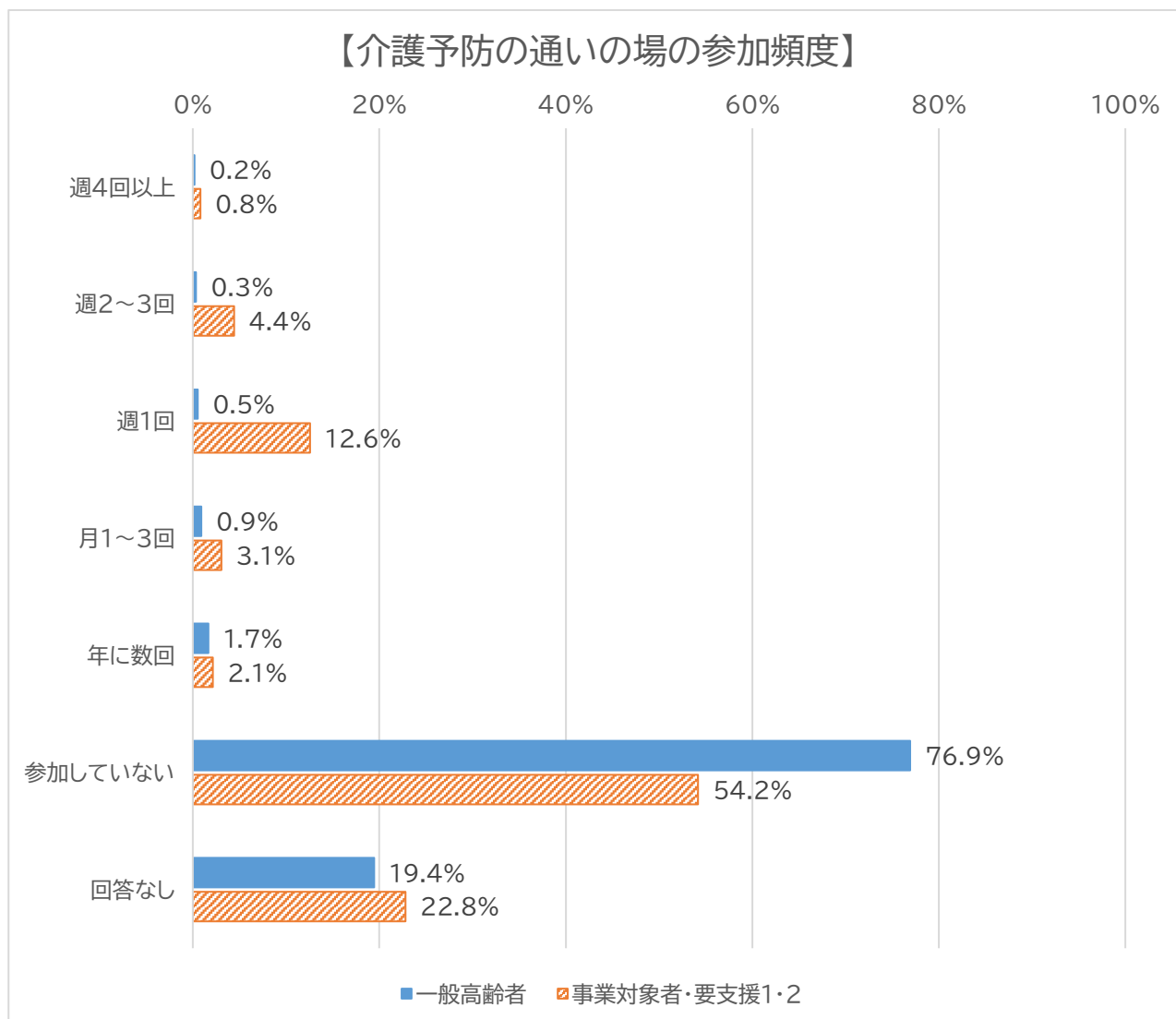
「参加していない」が7割ほど占め、次いで一般高齢者では「年に数回」が2.5%、要支援者では「月1～3回」が1.6%となっています。



5 地域での活動について

●問1 ⑤介護予防のための通いの場の参加頻度

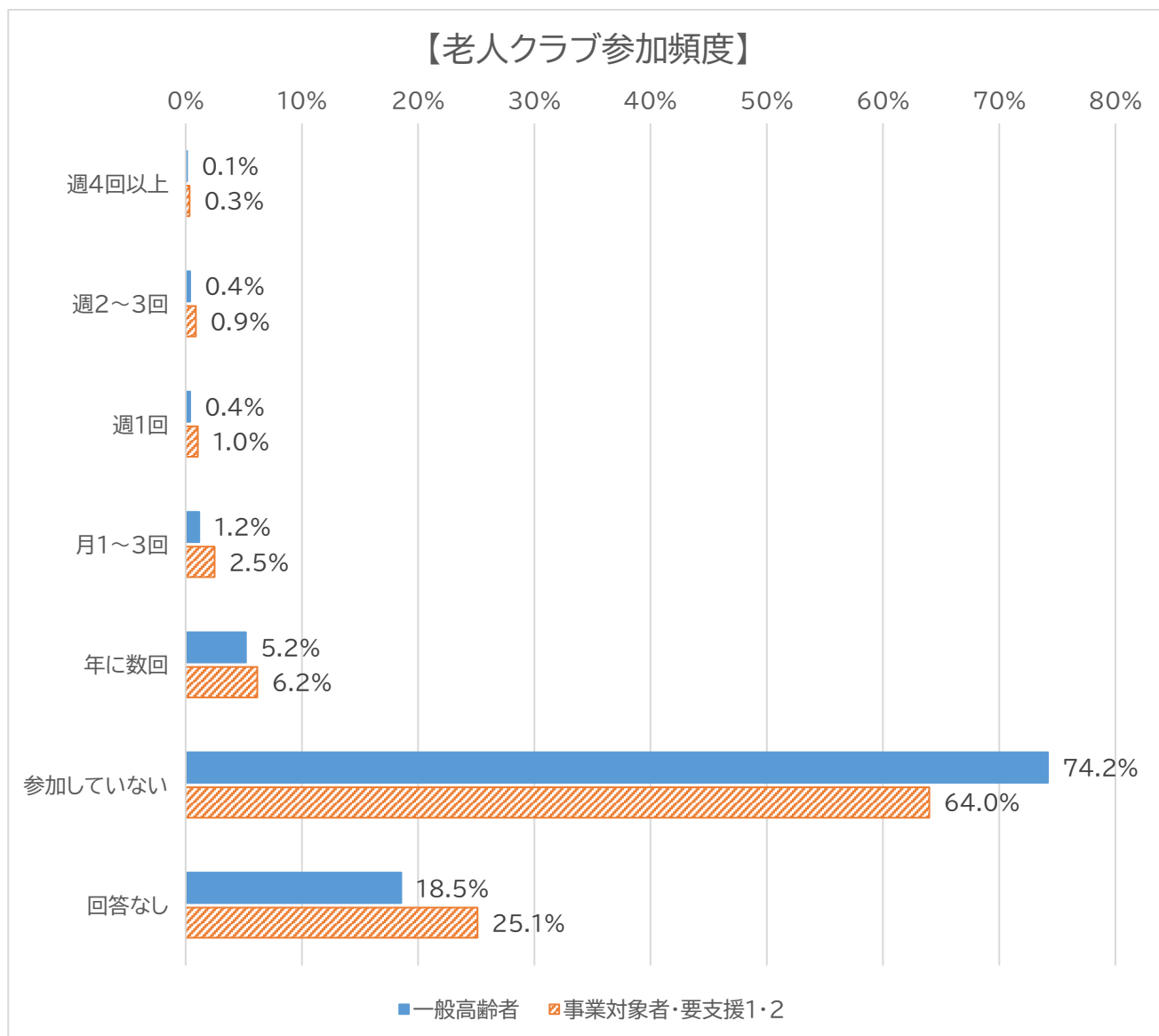
「参加していない」が最も多く、一般高齢者で76.9%、要支援者では54.2%になります。次いで一般高齢者では「年に数回」が1.7%に対して、要支援者では「週1回」が12.6%、「週に2～3回」が4.4%と一般高齢者に比べて参加されている方は多くなっています。



5 地域での活動について

●問1 ⑥老人クラブへの参加頻度

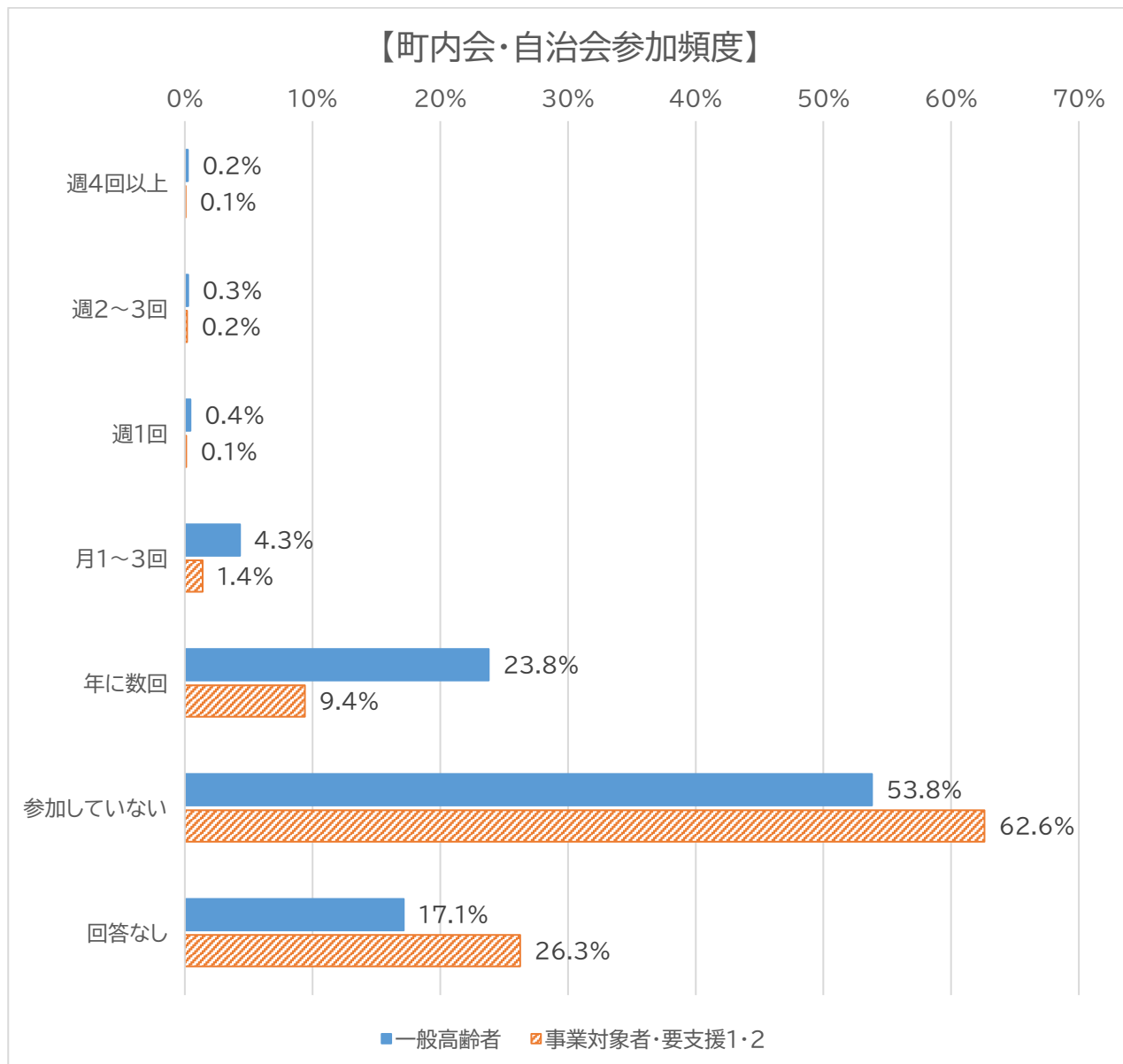
「参加していない」が6割以上を占め、次いで「年に数回」が一般高齢者で5.2%、要支援者で6.2%となっています。



5 地域での活動について

●問 1 ⑦町内会・自治会への参加頻度

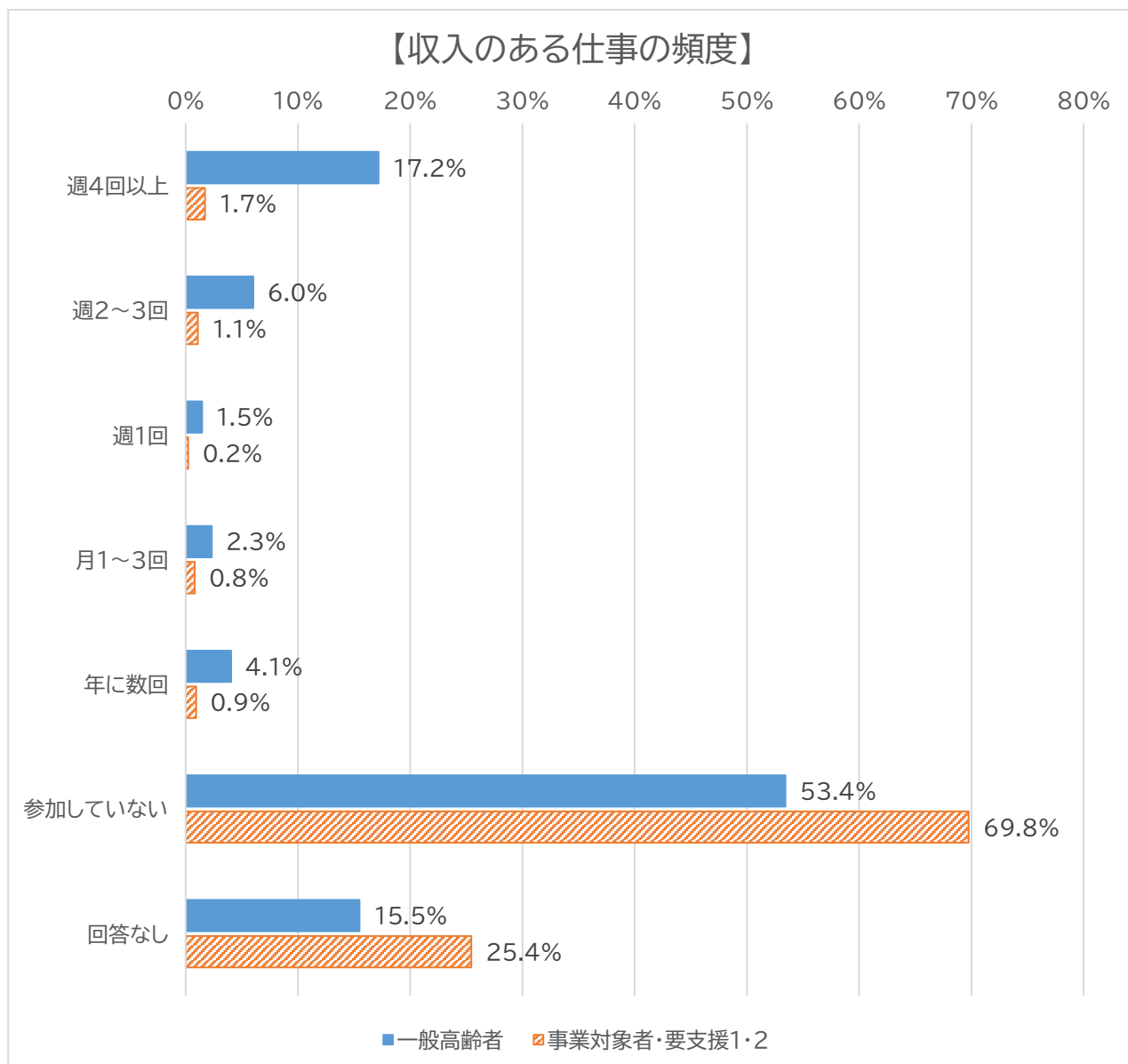
「参加していない」が一般高齢者で 53.8%、要支援者で 62.6%となっていて、次いで「年に数回」が一般高齢者で 23.8%、要支援者で 9.4%となっています。



5 地域での活動について

●問 1 ⑧収入のある仕事への参加頻度

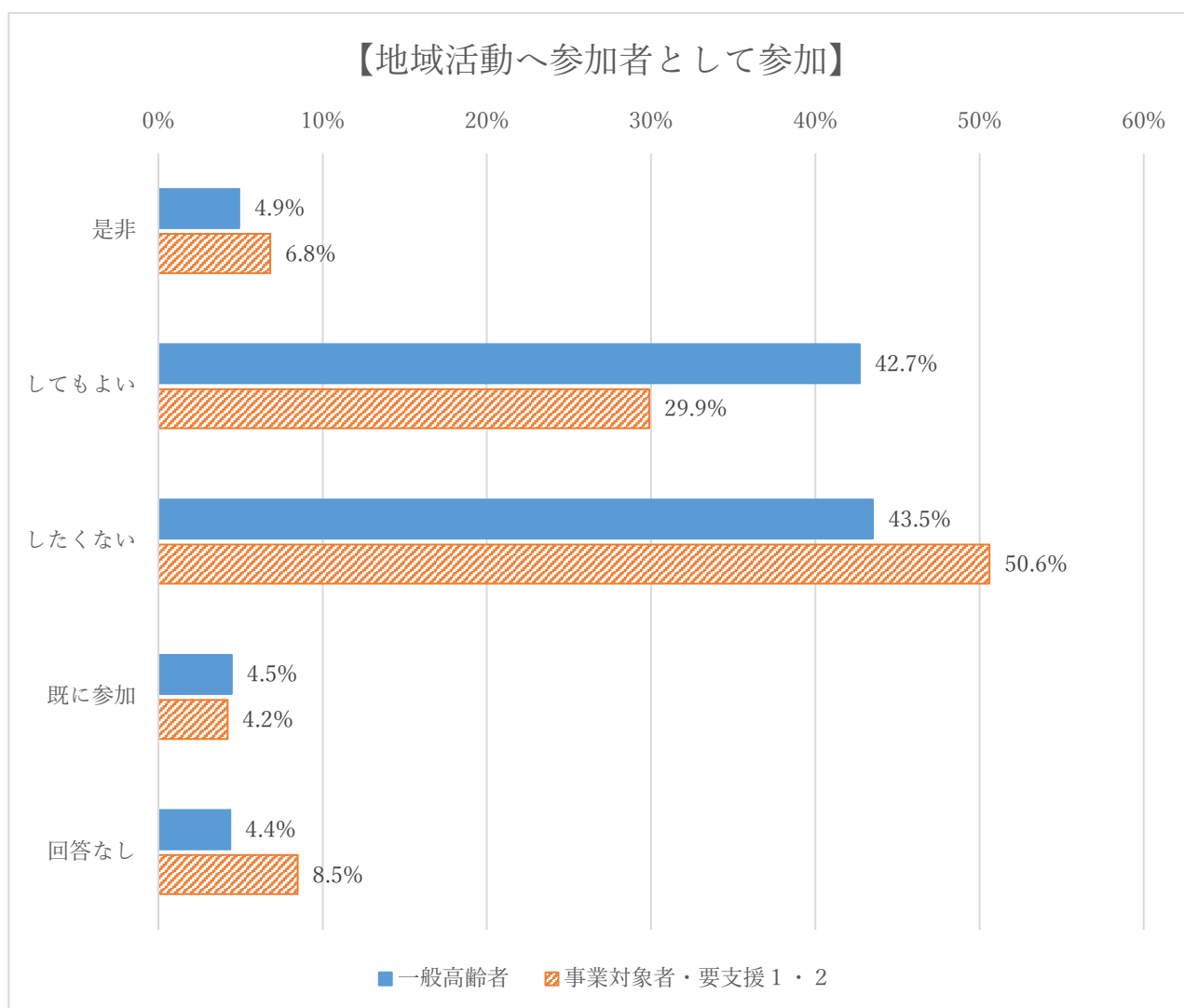
「参加していない」が一般高齢者で 53.4%、要支援者は 69.8%で最も多く、次いで「週 4 日以上」が一般高齢者で 17.2%、要支援者で 1.7%となっています。



5 地域での活動について

- 問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

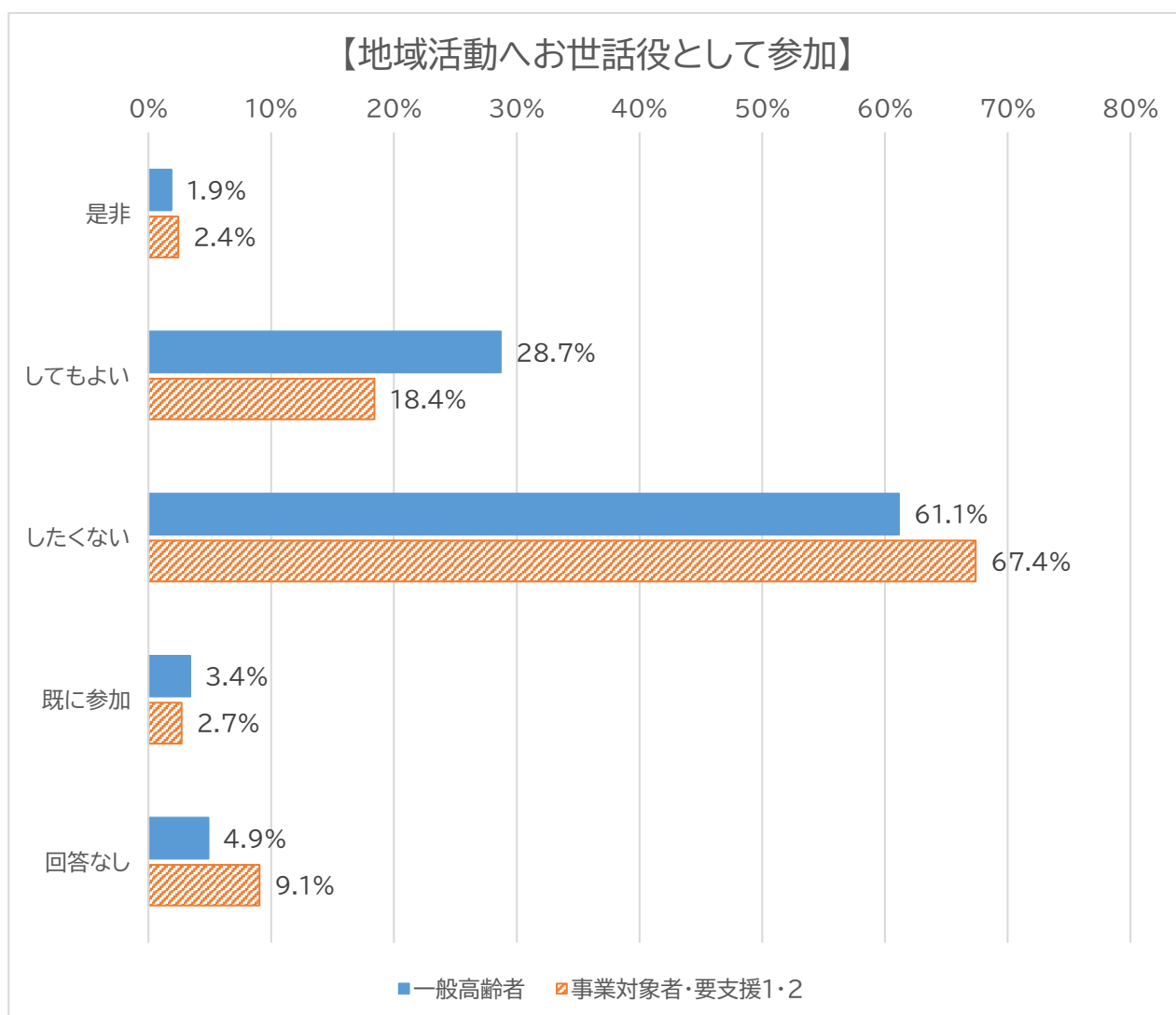
「参加したくない」が一般高齢者で43.5%、要支援者で50.6%と最も多く、次いで「参加してもよい」が一般高齢者で42.78%、要支援者で29.9%となっています。



5 地域での活動について

- 問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

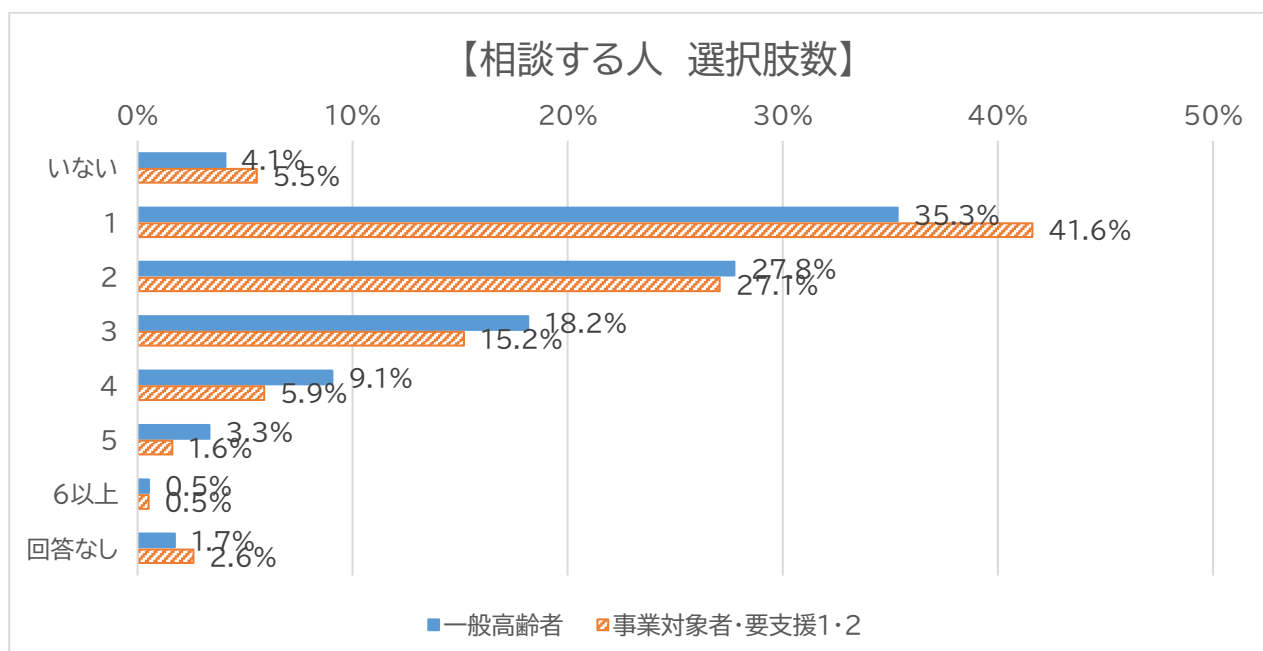
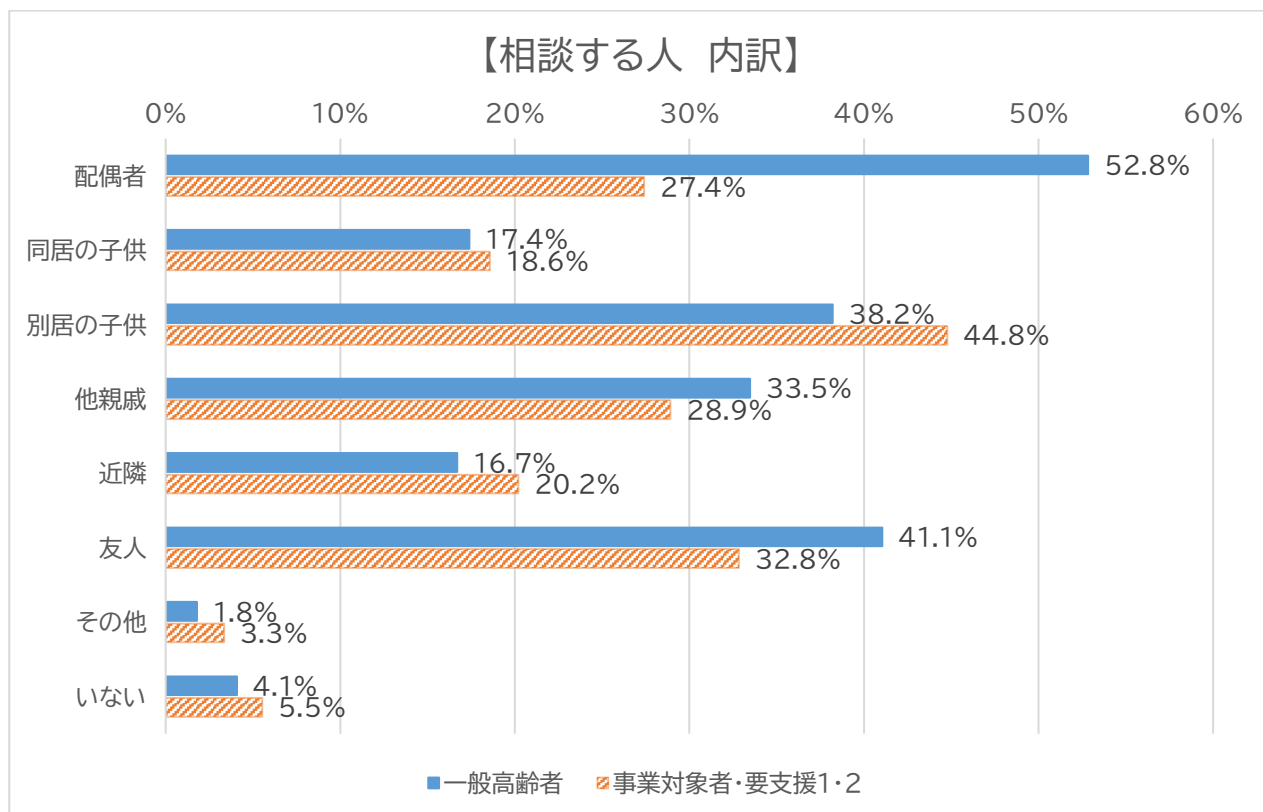
「参加したくない」が6割を占め、次いで「参加してもよい」が一般高齢者で28.7%、要支援者で18.4%となっています。



6 たすけあいについて

●問1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（複数回答）

相談相手としては一般高齢者では「配偶者」が52.8%、要支援者では「別居の子供」が44.8%となっています。

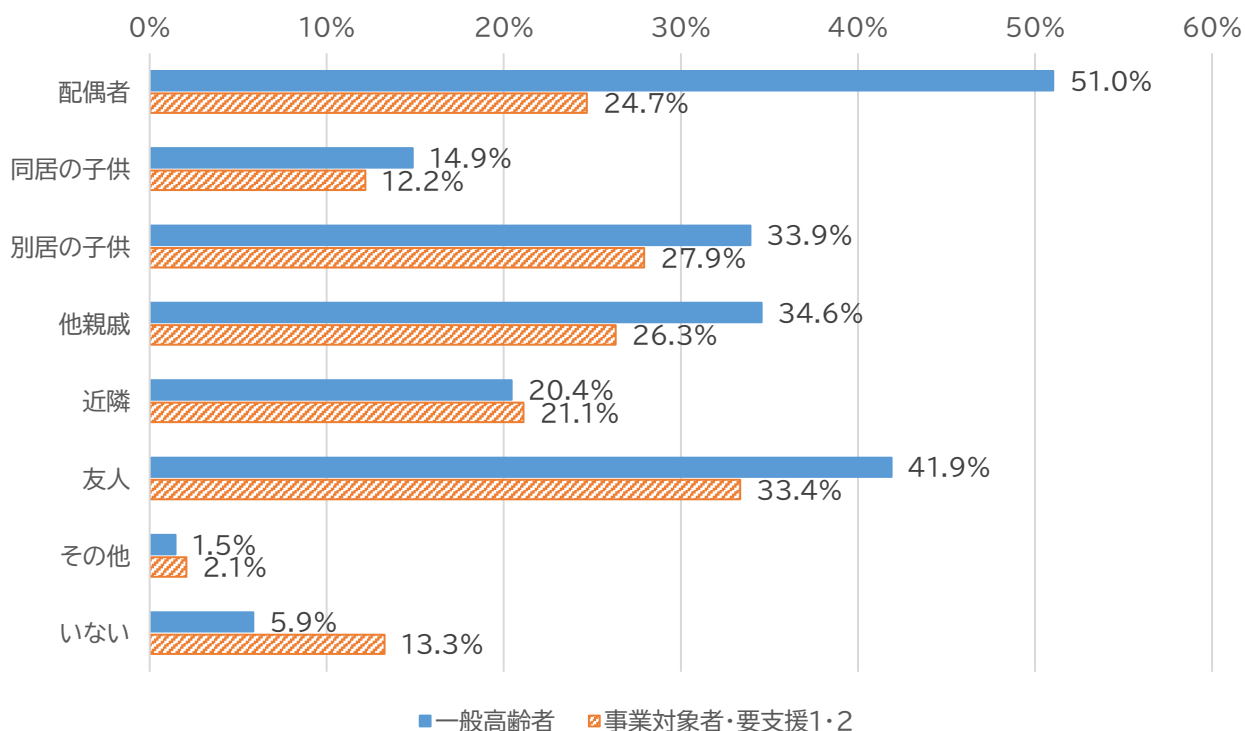


6 たすけあいについて

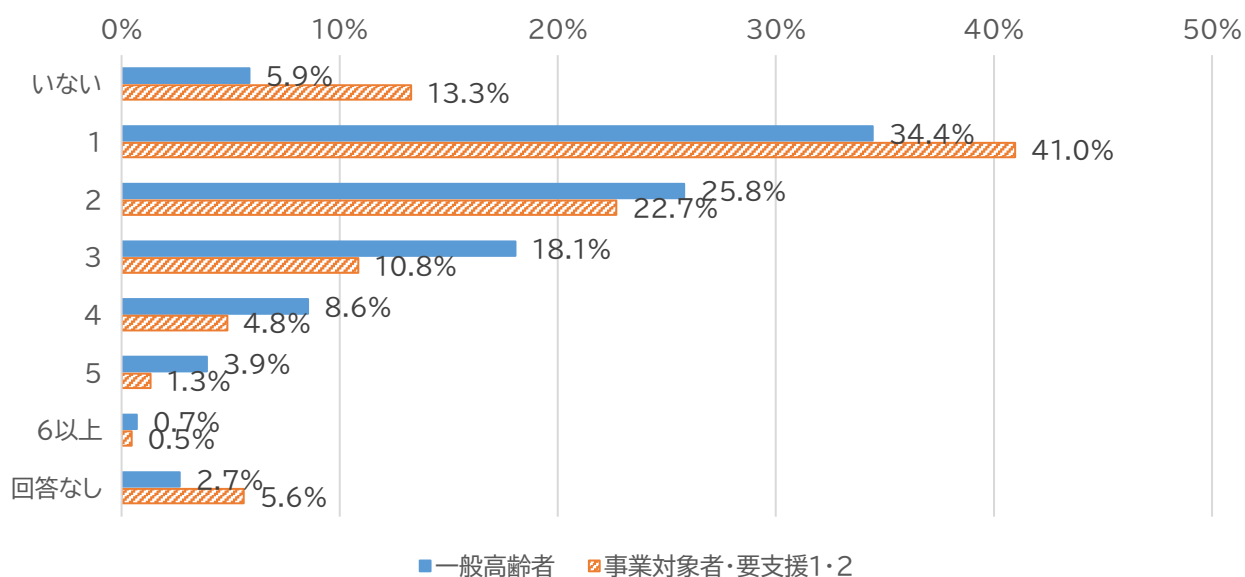
●問2 あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（複数回答）

相談を聞いてあげる相手は、一般高齢者では「配偶者」が51.0%で最も多く、次いで「他親族」の34.6%となっており、要支援者では「友人」の33.4%が最も多く、次いで「別居の子供」27.9%となっています。

【相談を聞いてあげる相手 内訳】



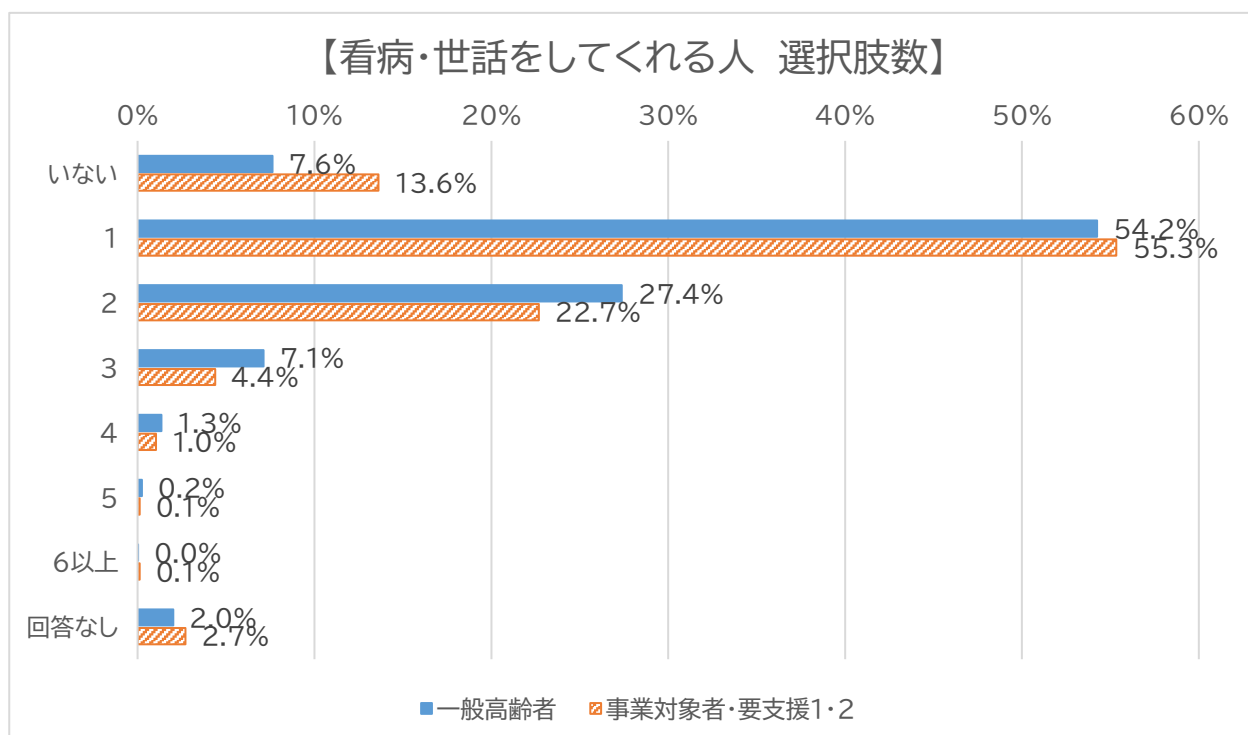
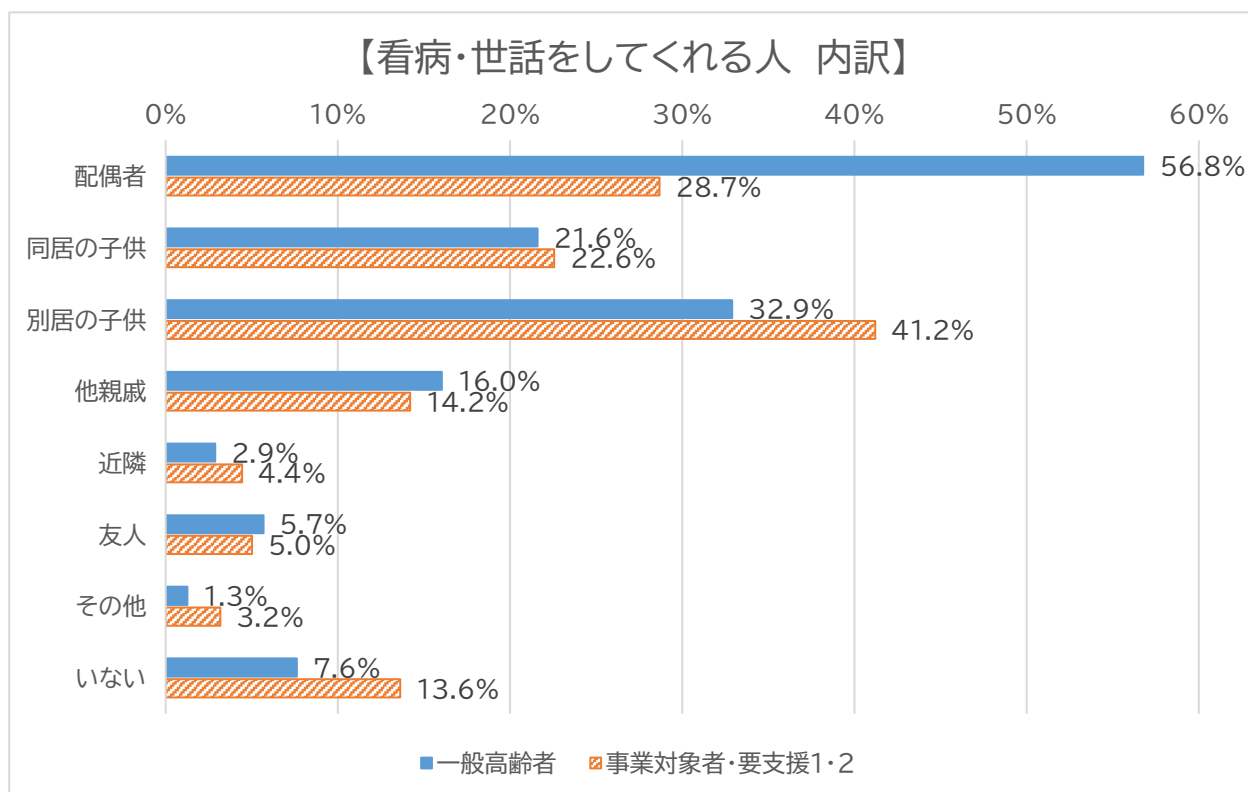
【相談を聞いてあげる相手 選択肢数】



6 たすけあいについて

●問3 あなたが病気で数日寝こんだときに、看病や世話をしてくれる人（複数回答）

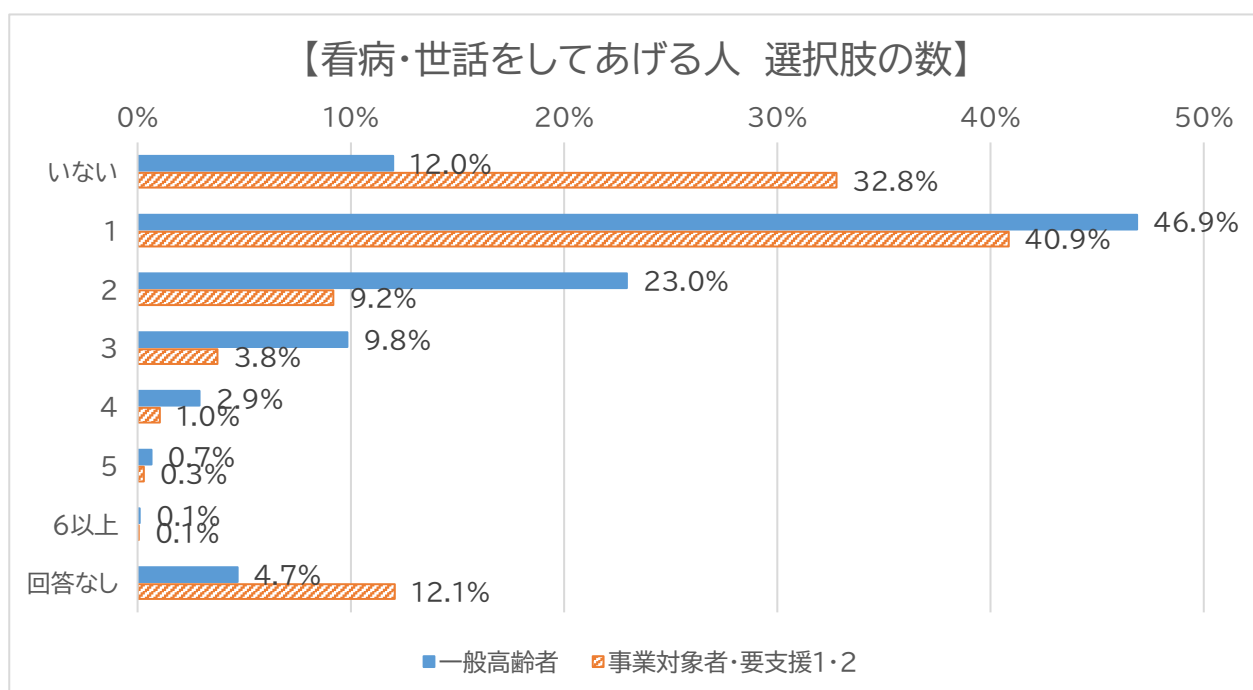
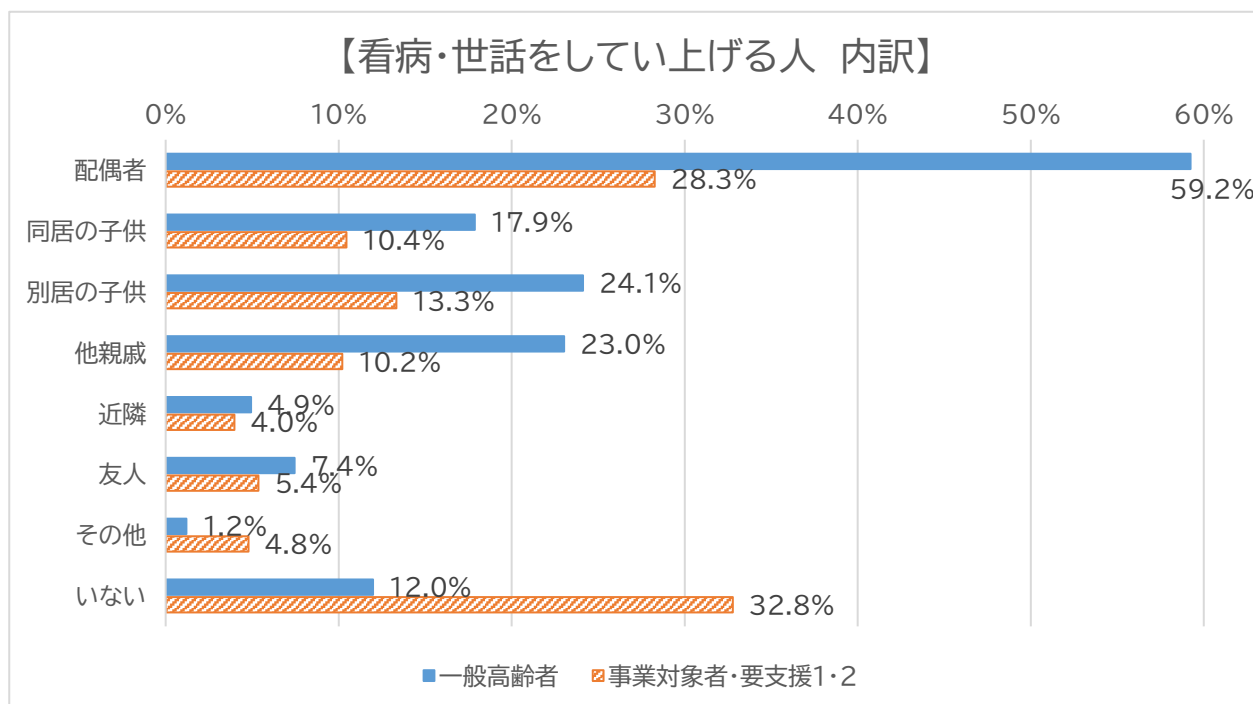
看病や世話をしてくれる人として、一般高齢者では「配偶者」の56.8%が最も多く、次いで「別居の子供」の32.9%となっています。要支援者では「別居の子供」が41.2%で最も多く、次いで「配偶者」28.7%となっています。



6 たすけあいについて

●問4 あなたが看病や世話をしあける人（複数回答）

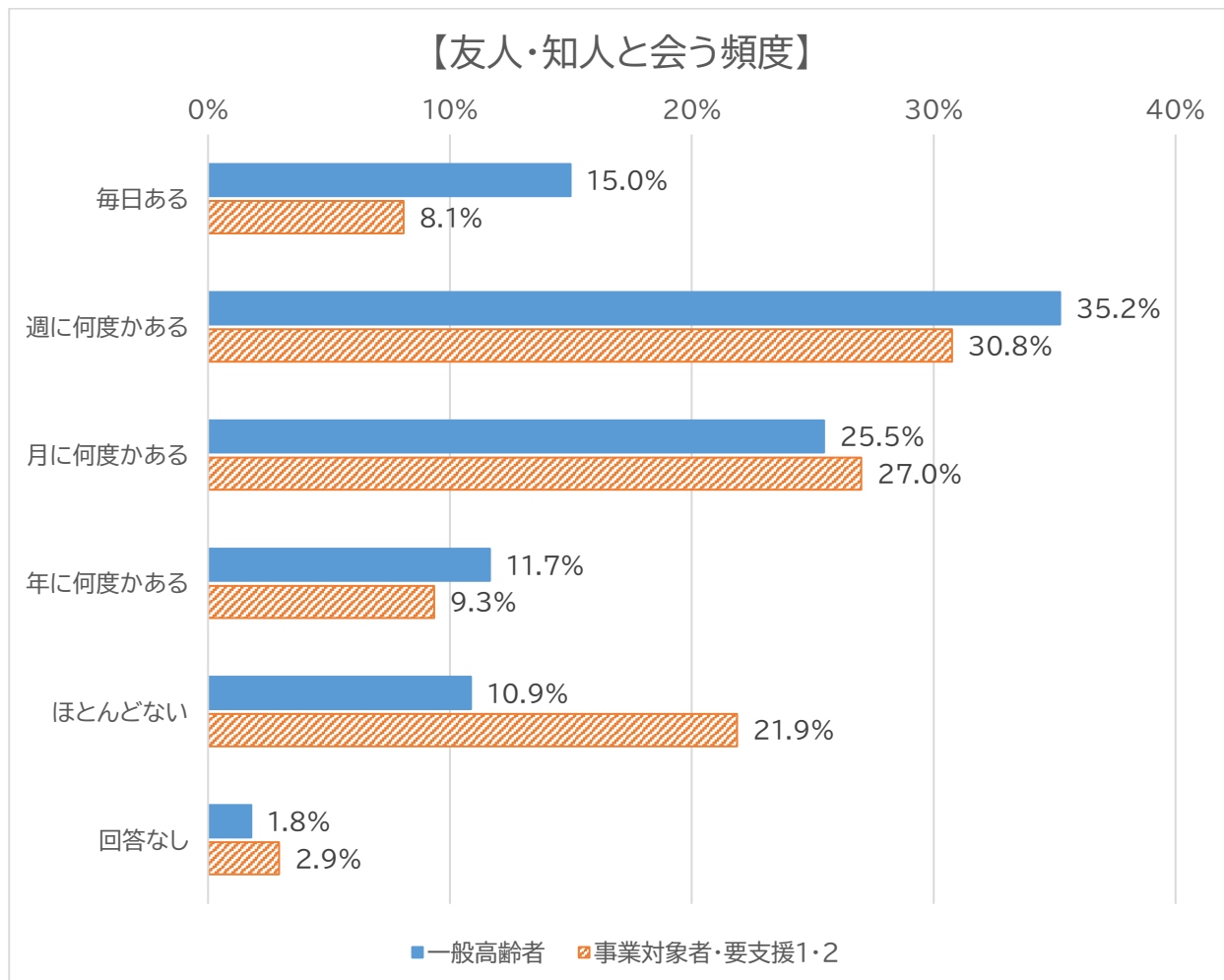
看病や世話をしあける相手では、一般高齢者で「配偶者」が59.2%と最も多く、次いで「別居の子供」が24.1%と続きます。要支援者では「いない」が32.8%と最も多く、次いで「配偶者」の28.3%となります。



6 たすけあいについて

●問5 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

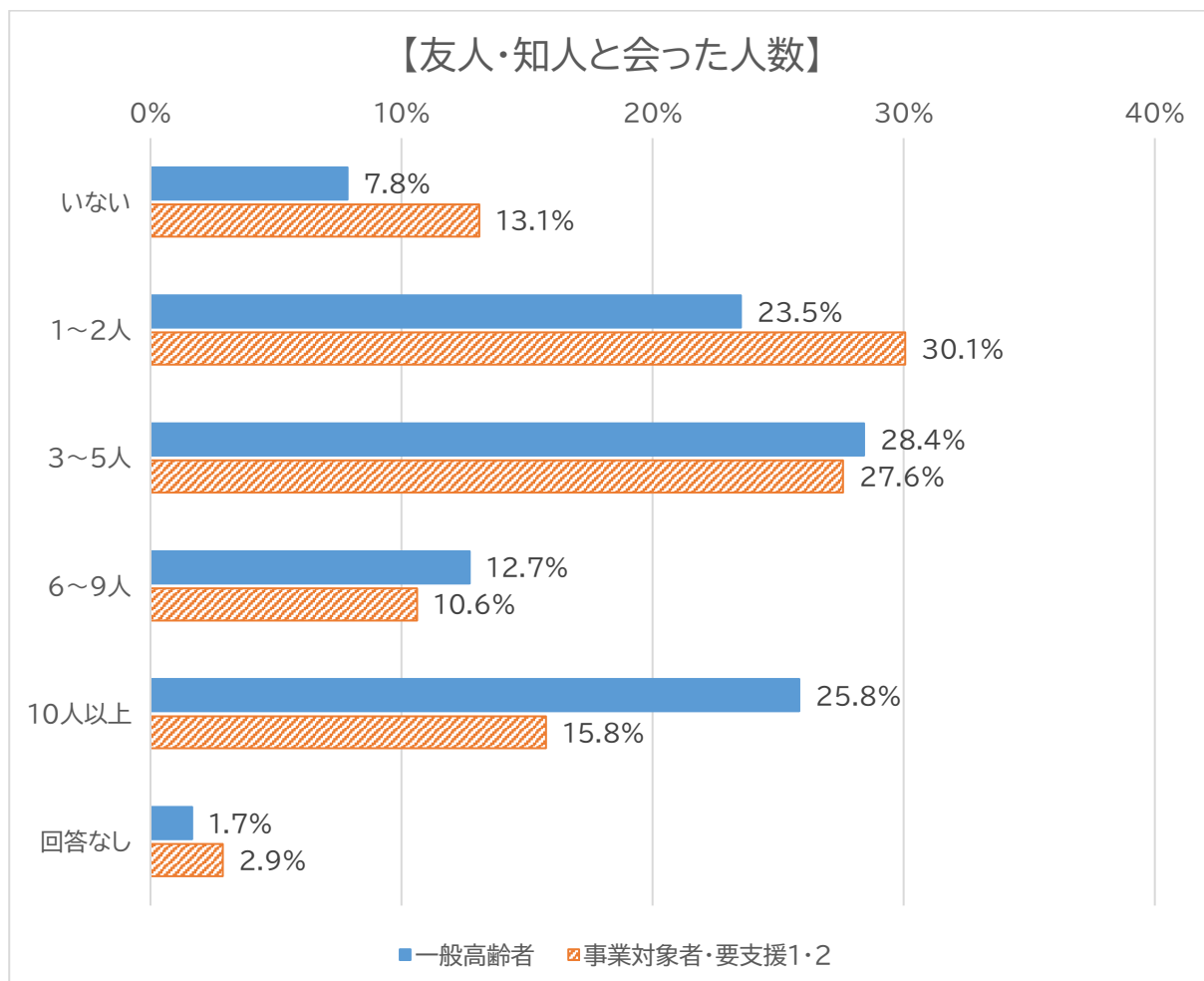
「週に何度かある」が一般高齢者で 35.2%、要支援者で 30.8%と最も多く、次いで「月に何度かある」が一般高齢者で 25.5%、要支援者で 27.0%となっています。また要支援者で「ほとんどない」が 21.9%と一般高齢者よりかなり多くなっています。



6 たすけあいについて

●問6 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

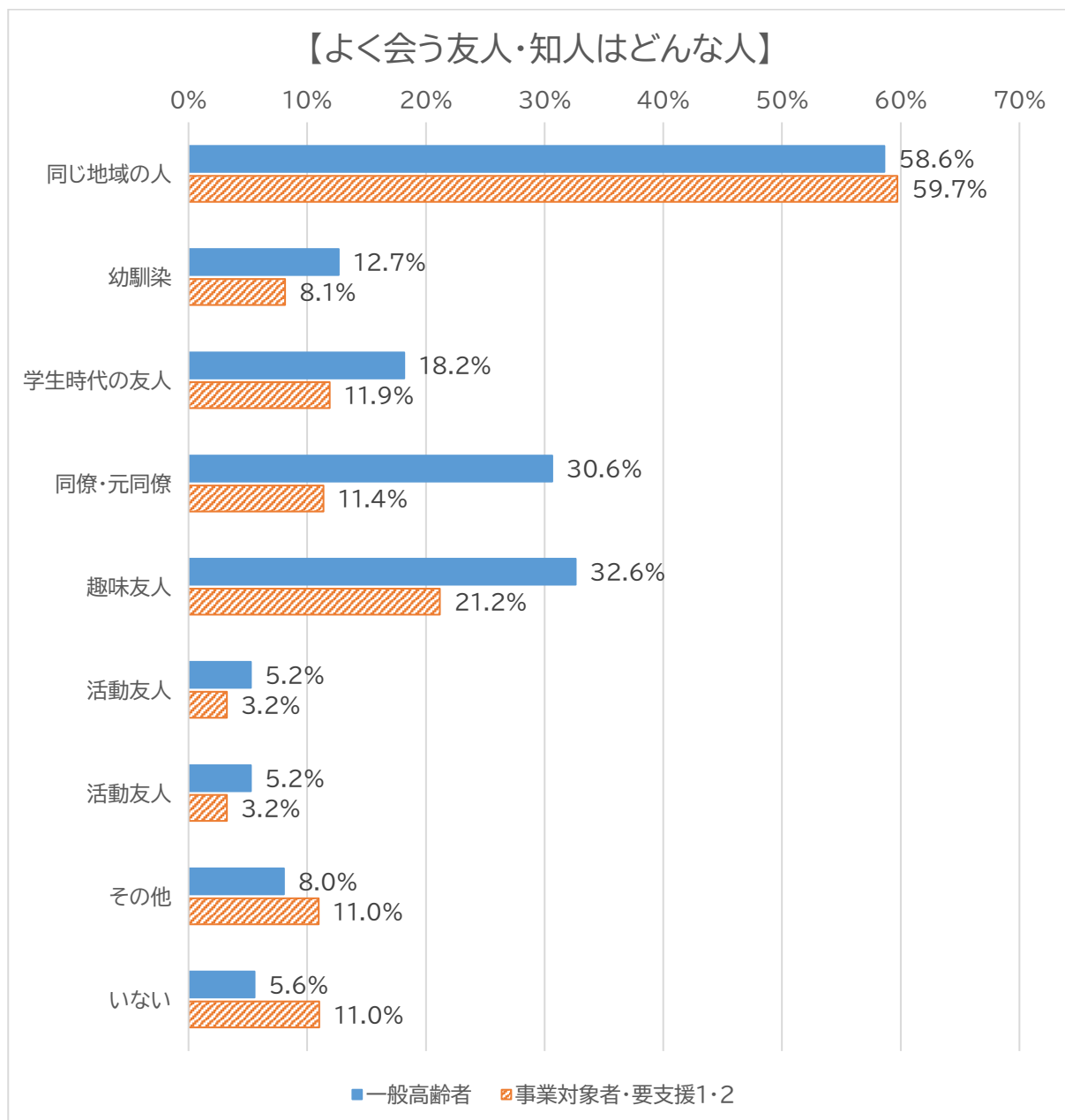
一般高齢者では「3～5人」が28.4%で最も多く、次いで「10人以上」が25.8%となっています。要支援者では「1～2人」が30.1%と最も多く、次いで「3～5人」27.6%となっています。



6 たすけあいについて

●問7 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(複数回答)

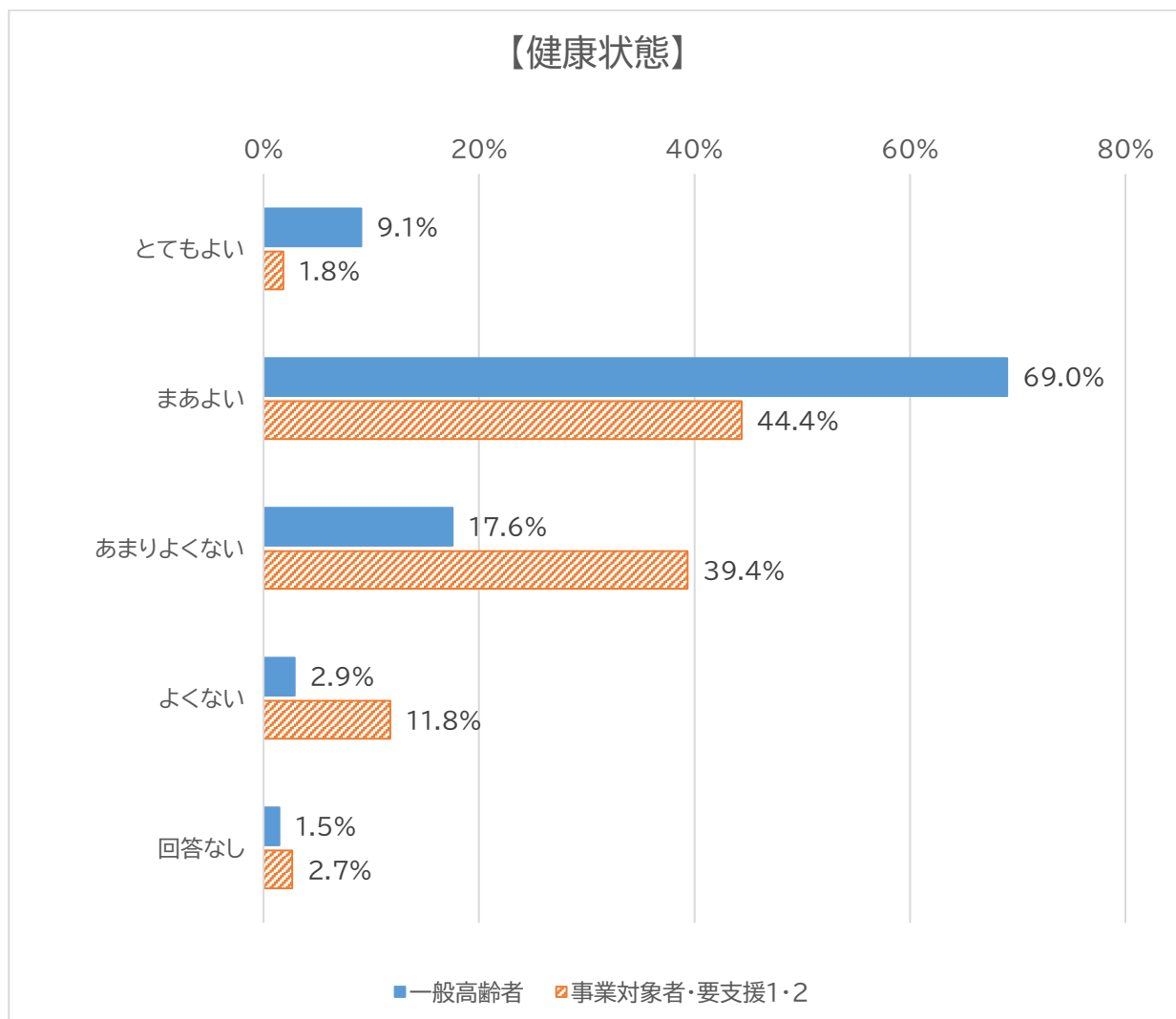
「近所・同じ地域の人」が6割ほど占めており、次いで「趣味や関心が同じ友人」が一般高齢者で32.6%、要支援者で21.2%となっています。



7 健康について

●問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

「まあよい」が最も多く一般高齢者で69.0%、要支援者で44.4%、次いで「あまりよくない」が一般高齢者で17.6%、要支援者で39.4%となっています。

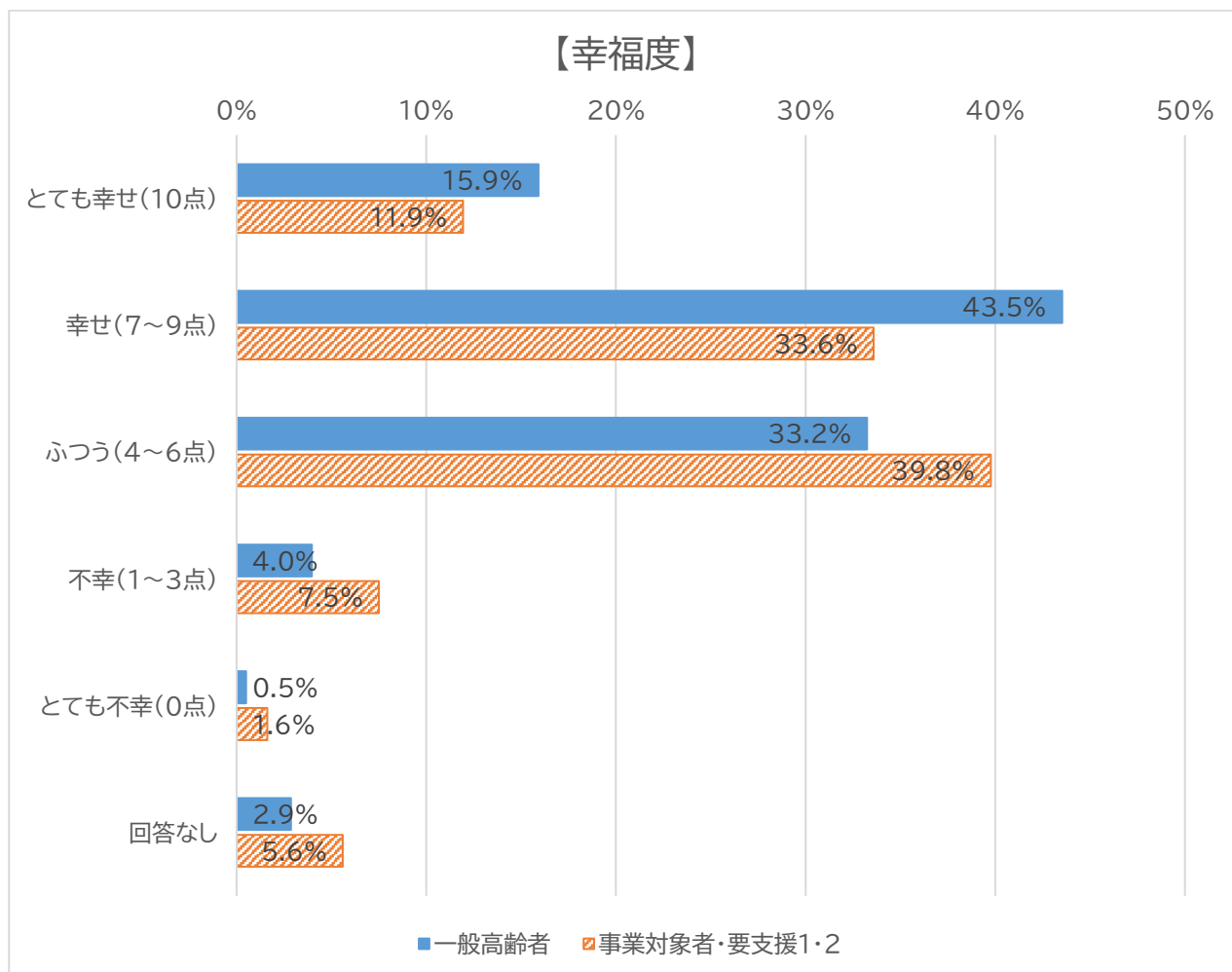


7 健康について

●問2 あなたは、現在どの程度幸せですか。

点数を11段階にして、「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とする

一般高齢者では「幸せ（7～9点）」が43.5%と最も多く、次いで「ふつう（4点～6点）」が33.2%となっています。要支援者では「ふつう（4点～6点）」が39.8%と最も多く、次いで「幸せ（7～9点）」が33.6%となっています。



7 健康について

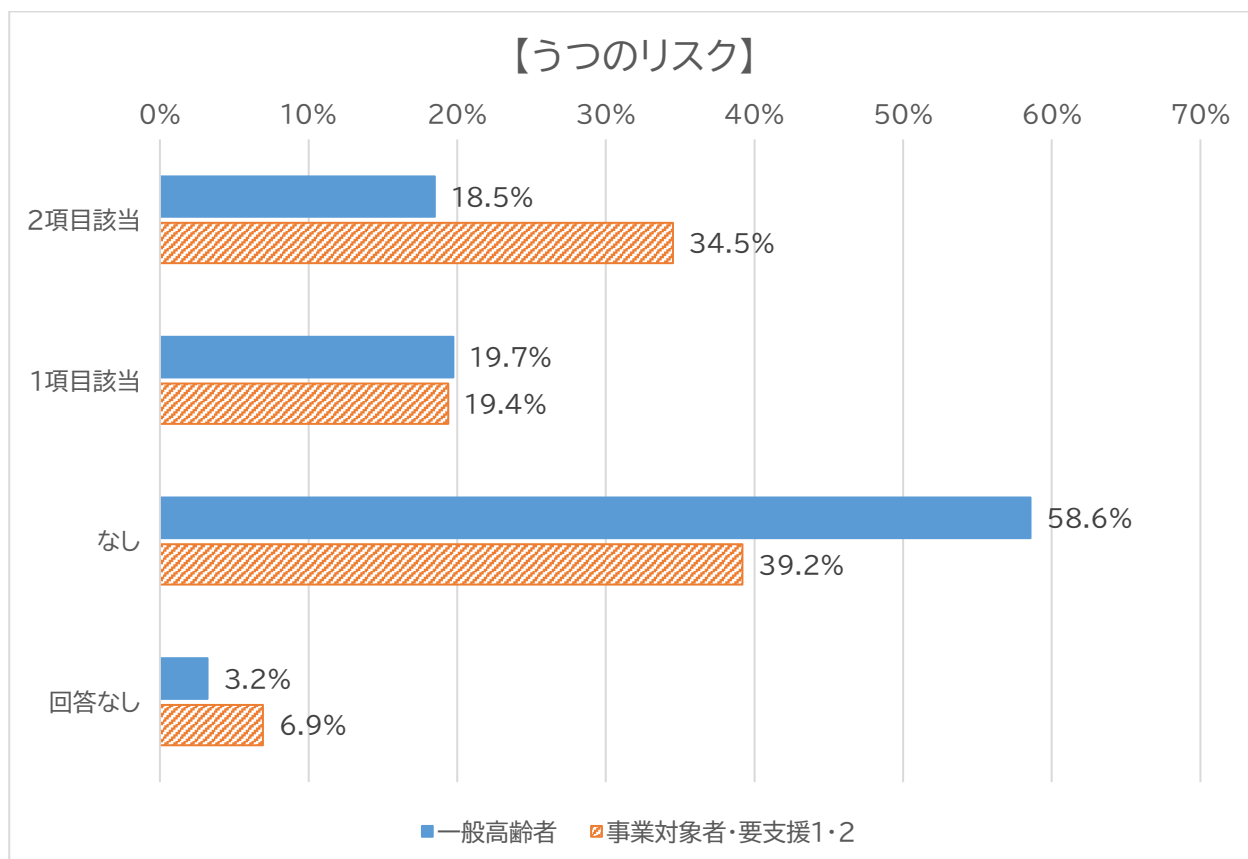
●問3-1 うつのリスク（非認定者）

（リスク判定方法）

以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

設問	選択肢
問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
問4 の1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

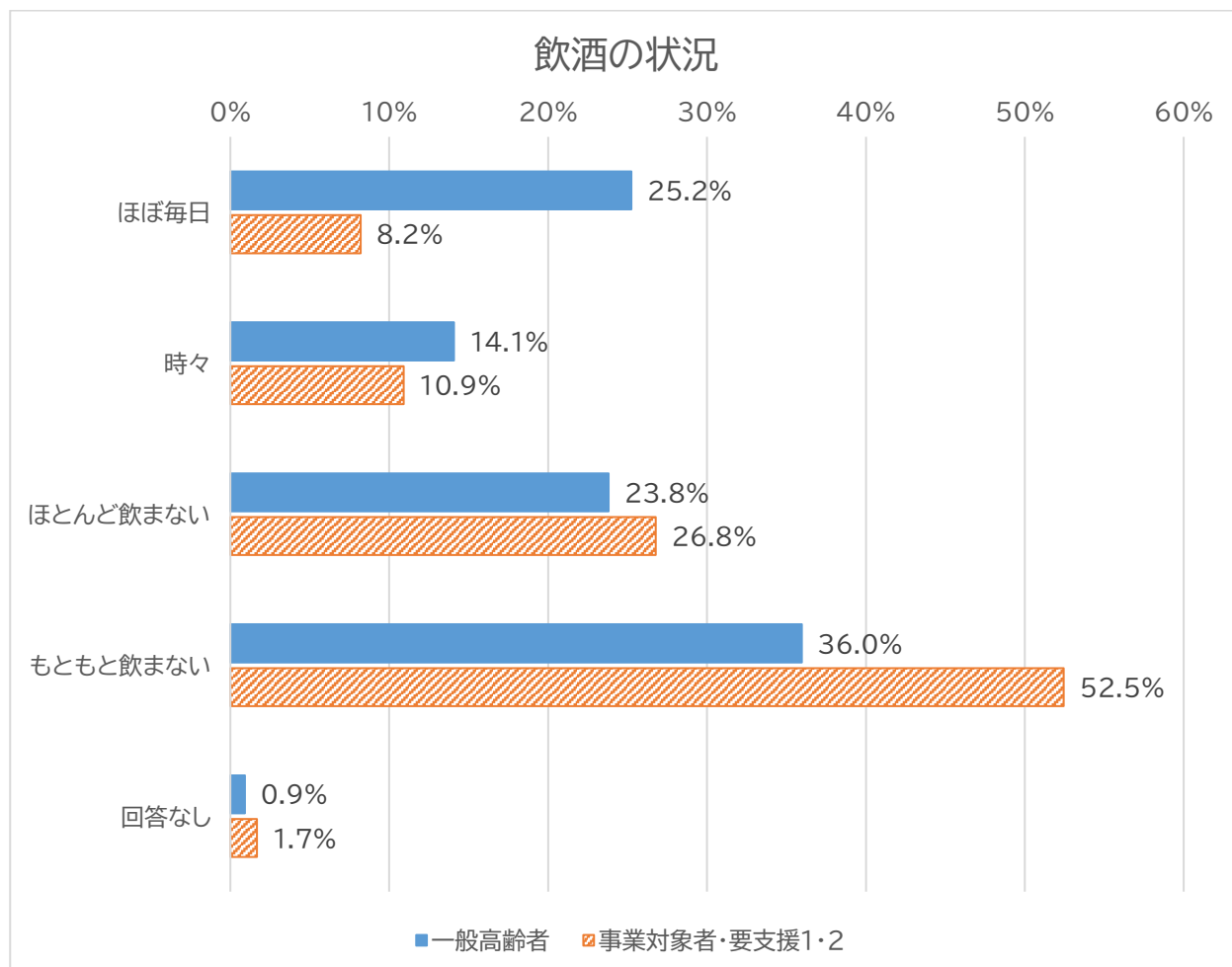
うつ傾向に該当なしが一般高齢者では58.6%、要支援者では39.2%となっており、要支援者では2項目該当が34.5%と高くなっています。



7 健康について

●問 5 お酒は飲みますか。

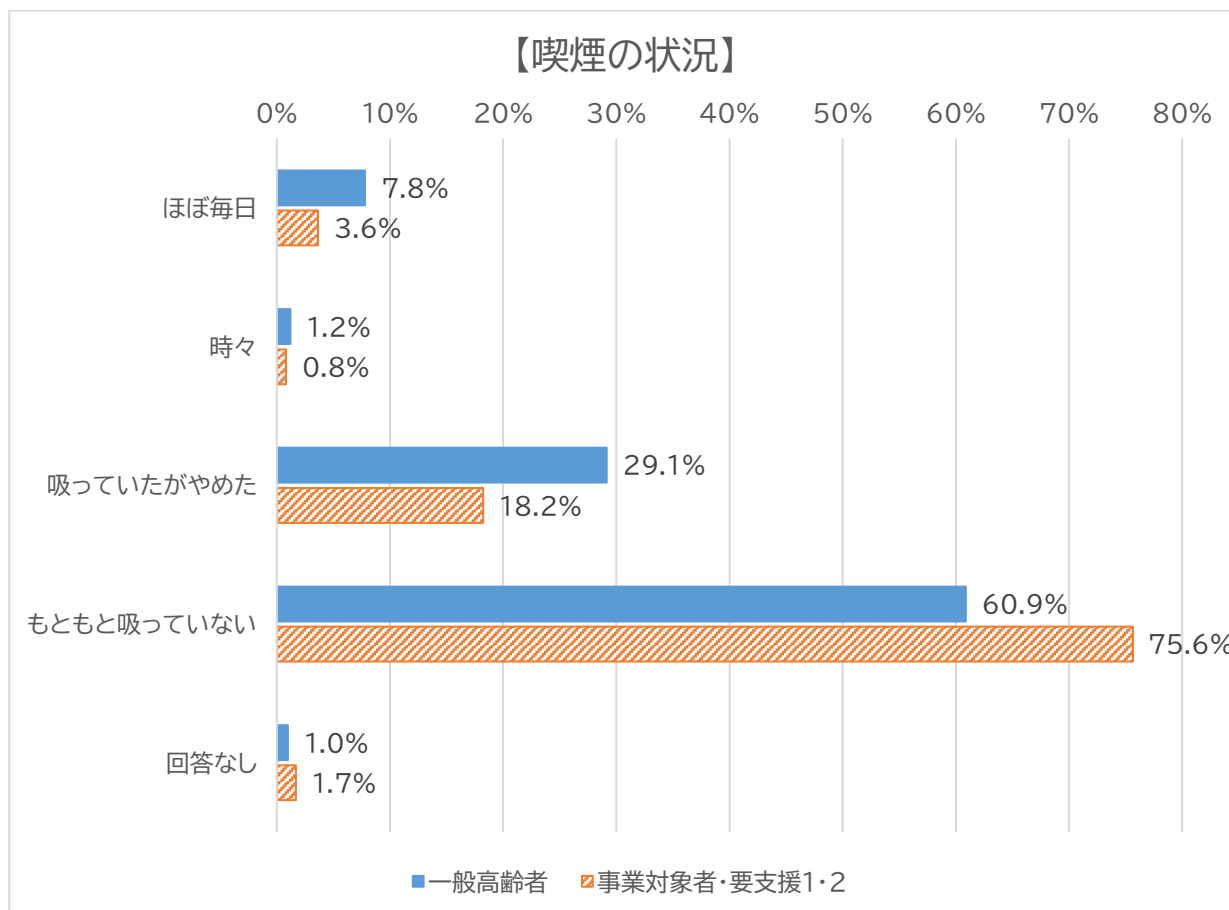
「もともと飲まない」が要支援者で 52.5%、一般高齢者で 36.0%と最も多くいますが、一般高齢者は「毎日飲む」が 25.2%となっています。



7 健康について

●問6 タバコは吸っていますか。

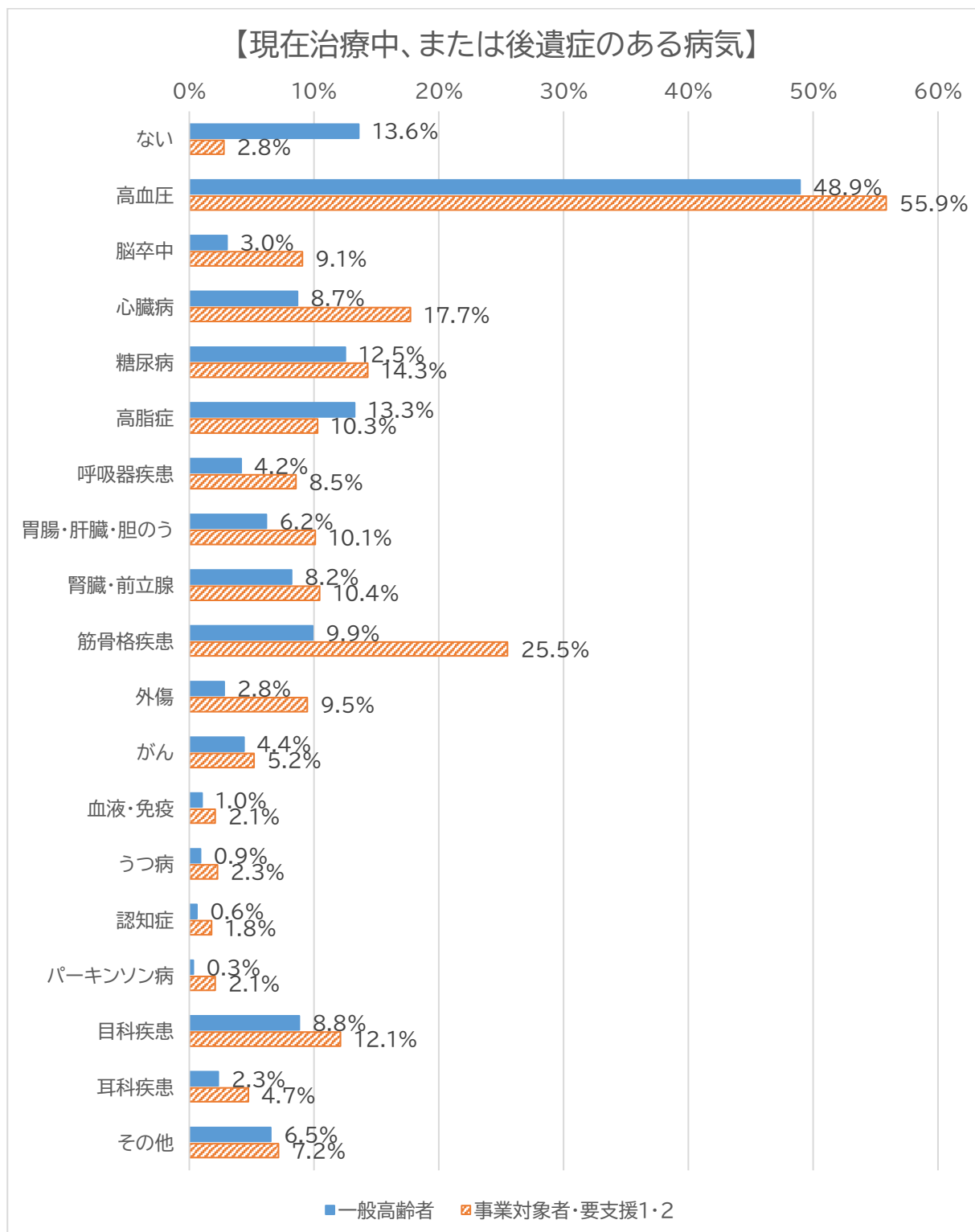
「もともと吸っていない」が要支援者で75.6%、一般高齢者は60.9%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が一般高齢者で29.1%、要支援者で18.2%となっています。



7 健康について

●問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答)

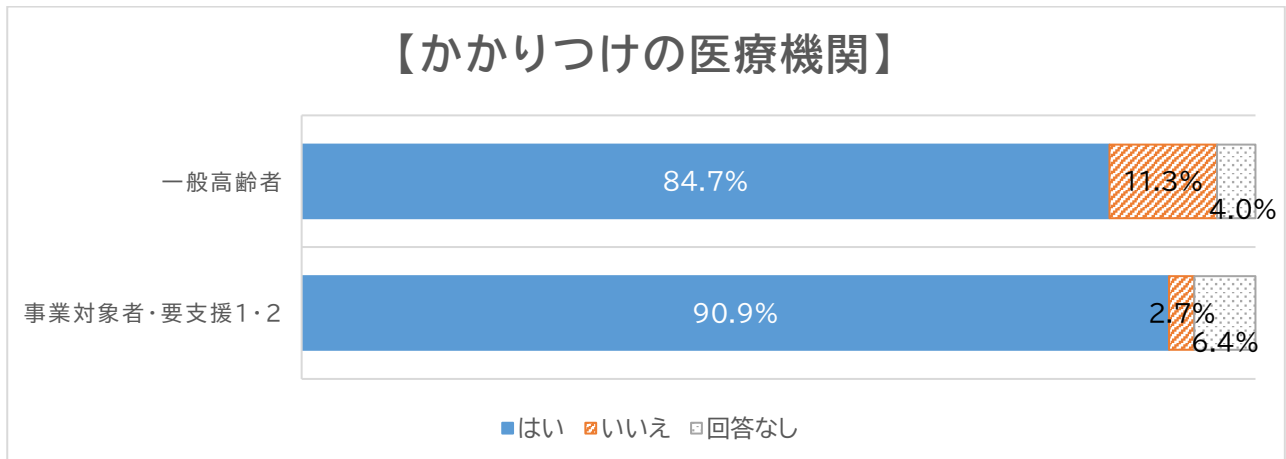
「高血圧」が一般高齢者で48.9%、要支援者は55.92%で最も多く、次いで要支援者では「筋骨格の病気」25.5%、「心臓病」が17.7%となっています。一般高齢者では「ない」が13.6%となっています。



7 健康について

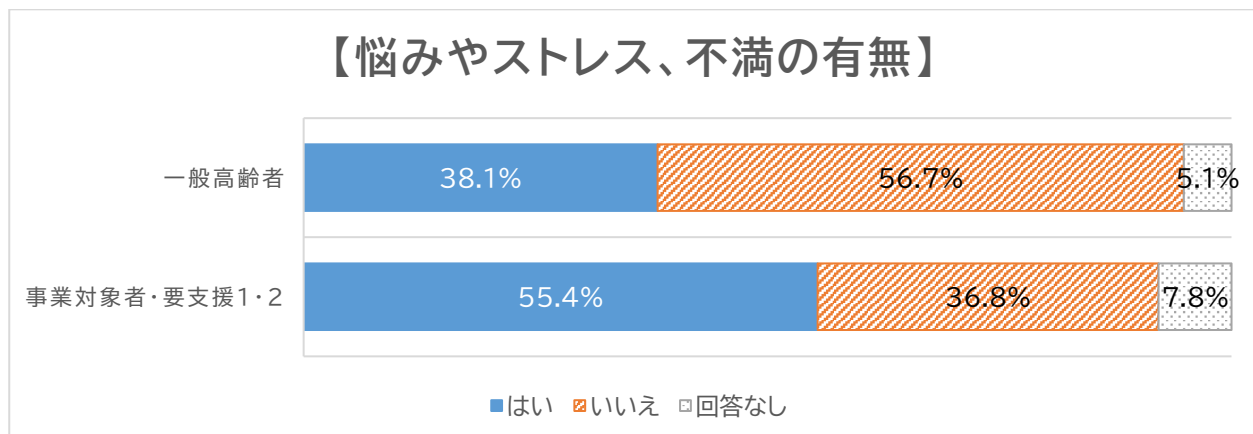
●問8 日頃から相談や受診をしている、かかりつけの医療機関はありますか

「かかりつけの医療機関がある」が要支援者では90.9%、一般高齢者では84.7%となっています。

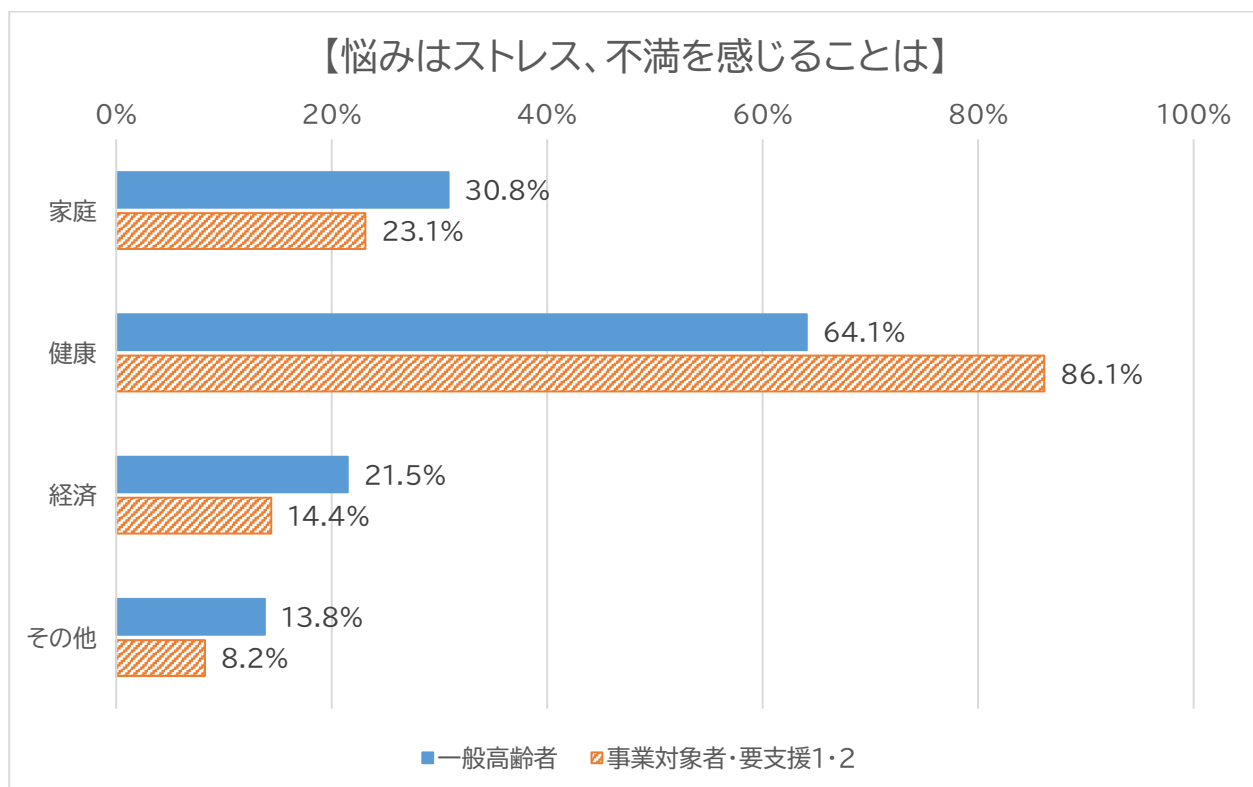


8 悩みやストレスについて

●問1 あなたは日頃から、悩みやストレス、不満を感じることがありますか



●問1-1 悩みやストレス、不満を感じることは、次のどれですか（いくつでも）

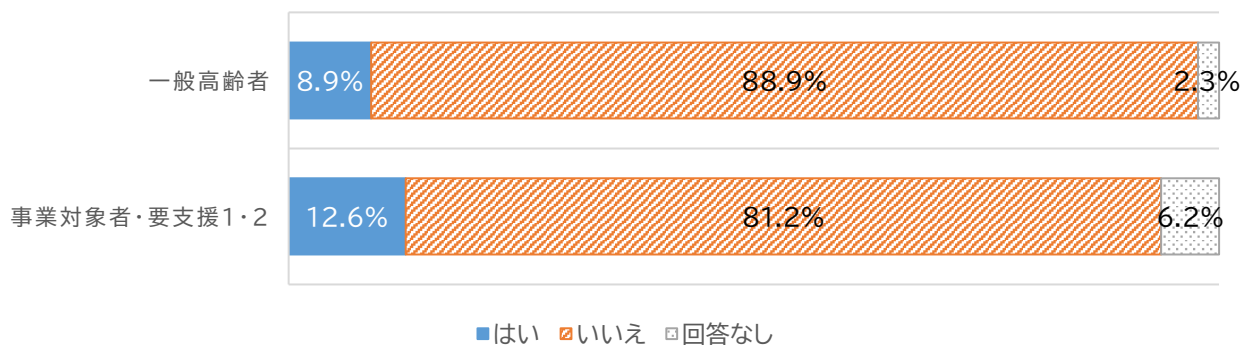


9 認知症にかかる相談窓口の把握について

- 問 1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

「はい」が一般高齢者では 8.9%、要支援者では 12.6%となっています。

【本人または家族の認知症の症状の有無】

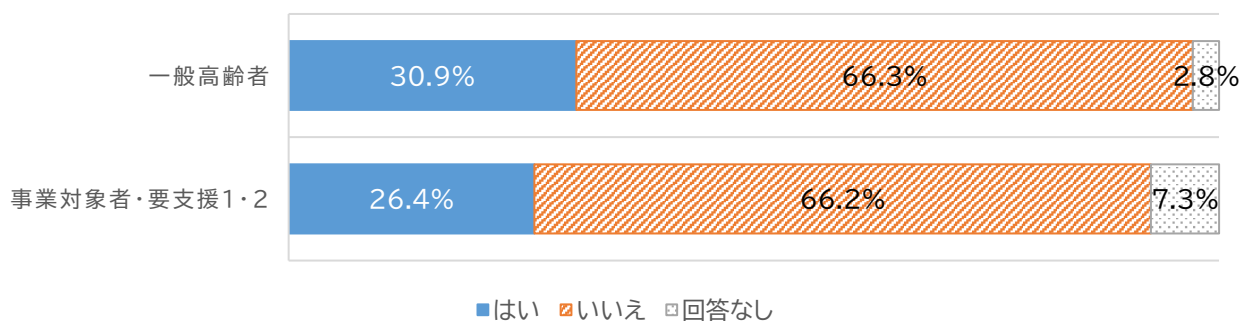


9 認知症にかかる相談窓口の把握について

- 問 2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

「はい」が一般高齢者で 30.9%、要支援者で 26.4%となっています。

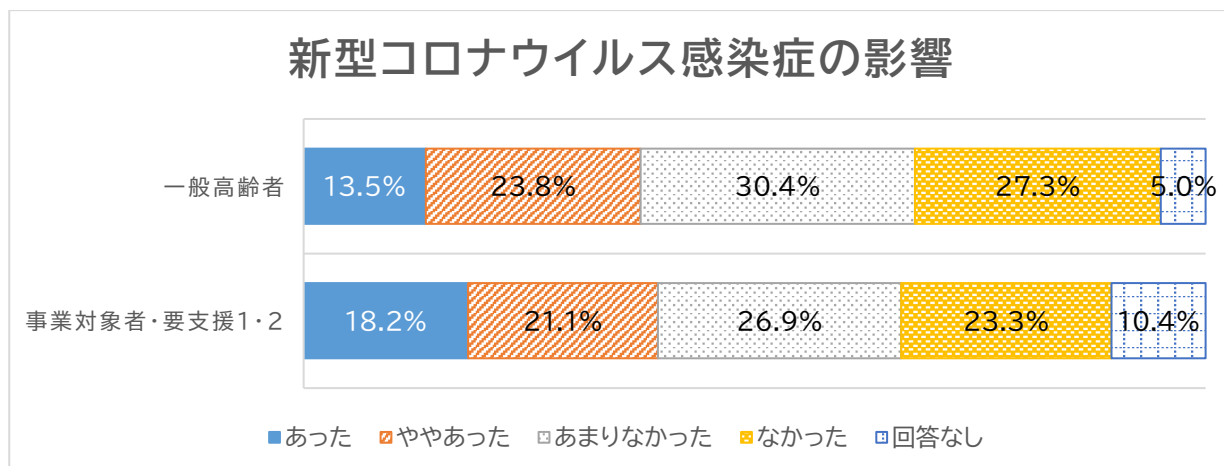
【認知所相談窓口の認知状況】



10 新型コロナウイルス感染症の影響について

●問1 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出回数などの日常生活における変化や体力などの身体的変化、または気分などの精神的な変化はありましたか。

「あった」と「ややあった」が合計して約4割で、「なかった」「あまりなかった」を合計して約5割となっています。

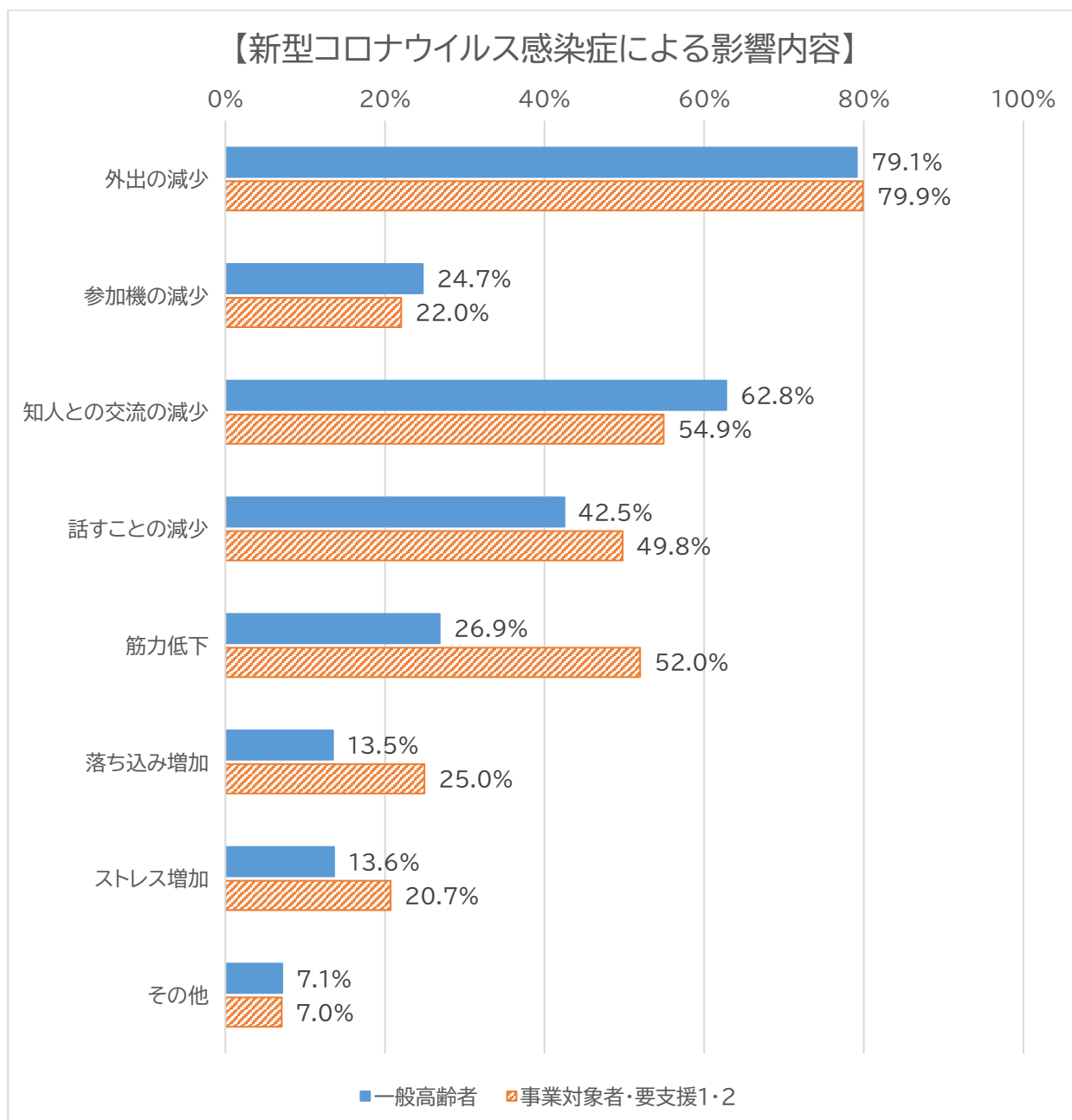


10 新型コロナウイルス感染症の影響について

●問1-1 どのような変化がありましたか。

「問1 新型コロナウイルス感染症の影響について」で「あった」「ややあった」と答えた方。

新型コロナウイルス感染症でどのような影響があるか複数回答で聞いたところ、「外出の減少」が最も多く、次いで「知人との交流の減少」となっています。



10 新型コロナウイルス感染症の影響について

●問2 あなたは、新型コロナウイルス感染症が終息した後、これまで実施してきた仕事や趣味、運動などの活動を、再開あるいは新しく始める予定はありますか。

新型コロナウイルス感染症が就職した後の活動では、「決めていない」が約6割となっています。「新たに始める」「活動を再開したい」を合わせると一般高齢者では29%、要支援者が15.1%もなっています。

【新型コロナウイルス感染症の終息後】

